

特定非営利活動法人手話教師センター



2022 年度
コミュニティ及び学術分野における
ろう通訳者・フィーダー養成事業
報告書

日本財団助成事業
(事業ID:2022001997)

Supported by  日本財団 THE NIPPON
FOUNDATION

もくじ

1 人材を確保する(1)	2
2 人材を確保する(2)	3
3 ろうフィを育てる(1)	7
4 ろうフィを育てる(2)	8
5 学術分野に対応できるろうフィを育てる	9
6 資格化をめざす	11

参考資料

(案内チラシ) *一部、本文と重複あり

- ・オンライン翻訳講座
- ・通訳理論講座・ろう通訳養成講座・フィーター養成講座
- ・特別講演会「手話放送とは」(通訳実習)
- ・特別講演会「ジェンダーとアイデンティティ」(通訳実習)
- ・特別講演会「防災への心構え」(通訳研修)
- ・医療のあれこれ(コミュニティ通訳研修)
- ・精神保健福祉分野について学ぼう(コミュニティ通訳研修)
- ・手話通訳士倫理綱領を基本から学ぼう(コミュニティ通訳研修)
- ・ろう通訳者のための翻訳研修会(コミュニティ通訳研修)
- ・学術通訳の心構え(学術通訳研修)
- ・国際手話を学ぼう(学術通訳研修)
- ・ゼロから学ぶ英語の読解(学術通訳研修)中止
- ・手話言語学を学ぼう(学術通訳研修)
- ・TISLR14 ミニ講座(学術通訳研修)
- ・手話通訳士と同等の知識を得るための勉強会のご案内(ろう通訳資格化)
- ・手話通訳士と同等の知識を得るための勉強会(実技)のご案内(ろう通訳資格化)

2014年度から「日本手話に特化した翻訳・通訳技術向上支援事業」を実施し、2020年度から、ろう通訳者およびフィーダーの養成をメインにした「コミュニティ及び学術分野におけるろう通訳者・フィーダー養成事業」を開始した。今年度はその3年目にあたる。

下記の通り事業を行なったので報告する。

1) 人材を確保する(1)

オンライン翻訳講座

ろう通訳者と協働できる聴の手話通訳者の養成の一環として「オンライン翻訳講座」を開講した。日本には、ろう者の言語である日本手話と、手話の単語を借用して表現した日本語としての日本語対応手話の2つがあり、この違いを踏まえた上で、日本手話から日本語への翻訳ができる人が必要である。

また、ろう通訳者をめざすろう者のためのコースも設けた。

Aコース:手話通訳者全国統一試験合格をめざしている者(2クラス)

Bコース:手話通訳者全国統一試験、または各自治体の登録試験に合格した者(5クラス)

Cコース:手話通訳士(3クラス)

Dコース:ろう通訳者及びろう通訳者をめざしているろう者(2クラス)

オンライン翻訳講座 2022年度								
	コース名	曜日	時間	オンライン学習会	開催数	翻訳課題	申込者	受講人数
1	Aコース	木曜	夜間	6月2日～10月27日	6回	6本	20	8
2	Aコース	水曜	午前	10月5日～2月1日	6回	6本	10	8
3	Bコース	木曜	午後	5月26日～10月13日	6回	6本	27	8
4	Bコース	木曜	夜間	5月26日～10月13日	6回	6本		8
5	Bコース	木曜	午前	6月2日～10月27日	6回	6本		6
6	Bコース	水曜	夜間	10月5日～2月1日	6回	6本	20	7
7	Bコース	木曜	午後	1月21日～3月23日	6回	6本	13	7
8	Cコース	月曜	夜間	5月30日～10月24日	6回	6本	20	8
9	Cコース	火曜	午後	11月22日～3月14日	6回	6本	25	8
10	Cコース	木曜	夜間	1月12日～3月23日	6回	6本	20	8
11	Dコース	水曜	夜間	6月8日～9月23日	6回	6本	12	8
12	Dコース	火曜	夜間	11月22日～3月14日	6回	6本	13	8
計							180	92

翻訳課題は、下記のとおりである。

オンライン翻訳講座 A・B・D 翻訳課題一覧	
翻訳課題 1	インターフォン
翻訳課題 2	ワッフル
翻訳課題 3	迷惑メール
翻訳課題 4	二世帯同居の心得
翻訳課題 5	コロナのおかげで大発見
翻訳課題 6	病院の昔・今

オンライン翻訳講座 C (手話通訳士) 翻訳課題一覧	
翻訳課題 1	Google間違い事件
翻訳課題 2	NPOについて
翻訳課題 3	新車の事故
翻訳課題 4	自動車学校
翻訳課題 5	与路島
翻訳課題 6	舞台手話通訳について

クラスの運営にあたり、Google の学習支援ツールクラスルームを使用し、課題のやりとりはすべてクラスルームで完結できるようにした。

2) 人材を確保する(2)

通訳理論講座／ろう通訳者養成講座／フィーダー養成講座

ろう者と聴者が協働してよりよい通訳を提供する人材を確保するのが目的である。今年度で8期となるろう通訳者養成講座(ろう者)、フィーダー養成講座(聴者)を開講した。通訳者として高い倫理観を身につけてもらうため、通訳理論講座を開講した。

また、今年度から、コミュニティ領域における通訳場面を入れることにした。

ろう通訳者養成講座・フィーダー養成講座 2022				
	内容	回数	申込者	受講者
1	通訳理論講座 (2クラス)	15	35	12
2	ろう通訳者養成講座	35	24	6
3	フィーダー養成講座	33	14	6
		計	73	24

通訳理論講座は2クラス

クラスと受講生人数・内訳

火曜・夜間 ろう者6名
(12名) 聴者6名
*うち、ろう通訳養成講座受講生3名・フィーダー養成講座受講生3名

土曜・昼間 ろう者5名
(11名) 聴者6名
*うち、ろう通訳養成講座受講生2名・フィーダー養成講座受講生3名

(ろう通訳者養成講座受講生6名のうちの1名は受講歴あるため免除)

通訳理論講座 Aクラス					
日時	曜	時間	講座形式	講座名	内容
6月21日	火	20:00-21:30	オンライン	A通訳理論1	通訳倫理規定の内容と基本的理念
7月5日	火	20:00-21:30	オンライン	A通訳理論2	通訳論（1）
7月19日	火	20:00-21:30	オンライン	A通訳理論3	通訳論（2）
7月26日	火	20:00-21:30	オンライン	A通訳理論4	手話通訳者のあり方（1）
8月2日	火	20:00-21:30	オンライン	A通訳理論5	手話通訳者のあり方（2）
8月9日	火	20:00-21:30	オンライン	A通訳理論6	コミュニケーション論
8月23日	火	20:00-21:30	オンライン	A通訳理論7	社会言語学視点の手話通訳分野
8月30日	火	20:00-21:30	オンライン	A通訳理論8	通訳現場における場の調整力（1）
9月13日	火	20:00-21:30	オンライン	A通訳理論9	通訳現場における場の調整力（2）
9月20日	火	20:00-21:30	オンライン	A通訳理論10	ろう通訳者の役割
10月4日	火	20:00-21:30	オンライン	A通訳理論11	聴通訳とろう通訳の協働することの意義
10月15日	土	09:00-10:30	オンライン	A通訳理論12	事例検討（1）
		10:40-12:10	オンライン	A通訳理論13	事例検討（2）
		13:10-14:40	オンライン	A通訳理論14	事例検討（3）
		14:55-16:25	オンライン	A通訳理論15	事例検討（4）まとめ

通訳理論講座 Bクラス					
日時	曜	時間		講座名	内容
6/25	土	10:40-12:10	オンライン	B通訳理論1	通訳倫理規定の内容と基本的理念
		13:10-14:40	オンライン	B通訳理論2	通訳論（1）
		15:00-16:30	オンライン	B通訳理論3	通訳論（2）
7/30	土	10:40-12:10	オンライン	B通訳理論4	手話通訳者のあり方（1）
		13:10-14:40	オンライン	B通訳理論5	手話通訳者のあり方（2）
		15:00-16:30	オンライン	B通訳理論6	コミュニケーション論
8/27	土	10:40-12:10	オンライン	B通訳理論7	社会言語学視点の手話通訳分野
		13:10-14:40	オンライン	B通訳理論8	通訳現場における場の調整力（1）
		15:00-16:30	オンライン	B通訳理論9	通訳現場における場の調整力（2）
9/17	土	13:10-14:40	オンライン	B通訳理論10	ろう通訳者の役割
		15:00-16:30	オンライン	B通訳理論11	聴通訳とろう通訳の協働することの意義
10/1	土	09:00-10:30	オンライン	B通訳理論12	事例検討（1）
		10:40-12:10	オンライン	B通訳理論13	事例検討（2）
		13:10-14:40	オンライン	B通訳理論14	事例検討（3）
		15:00-16:30	オンライン	B通訳理論15	事例検討（4）まとめ

ろう通訳者養成講座／フィーダー養成講座

ろう通訳者養成講座 ろう者 6名

フィーダー養成講座 聴者(手話通訳者) 6名

通訳演習と通訳実習は2チームで対応。

X チーム6名（ろう者3名・聴者3名）

Z チーム6名（ろう者3名・聴者3名）

**通訳理論講座・ろう通訳者養成講座（8期）・リーダー養成講座（8期）
2022年度 日程表**

日時	曜	時間	講座形式	講座名	内容
6/21	火	20:00-21:30	オンライン	A通訳理論1	通訳倫理規定の内容と基本的理念
7/5	火	20:00-21:30	オンライン	A通訳理論2	通訳論（1）
7/19	火	20:00-21:30	オンライン	A通訳理論3	通訳論（2）
6/25	土	10:40-12:10	オンライン	B通訳理論1	通訳倫理規定の内容と基本的理念
		13:10-14:40	オンライン	B通訳理論2	通訳論（1）
		15:00-16:30	オンライン	B通訳理論3	通訳論（2）
7/26	火	20:00-21:30	オンライン	A通訳理論4	手話通訳者のあり方（1）
8/2	火	20:00-21:30	オンライン	A通訳理論5	手話通訳者のあり方（2）
8/9	火	20:00-21:30	オンライン	A通訳理論6	コミュニケーション論
7/30	土	10:40-12:10	オンライン	B通訳理論4	手話通訳者のあり方（1）
		13:10-14:40	オンライン	B通訳理論5	手話通訳者のあり方（2）
		15:00-16:30	オンライン	B通訳理論6	コミュニケーション論
8/23	火	20:00-21:30	オンライン	A通訳理論7	社会言語学視点の手話通訳分野
8/30	火	20:00-21:30	オンライン	A通訳理論8	通訳現場における「場の調整力」（1）
9/13	火	20:00-21:30	オンライン	A通訳理論9	通訳現場における「場の調整力」（2）
8/27	土	10:40-12:10	オンライン	B通訳理論7	社会言語学視点の手話通訳分野
		13:10-14:40	オンライン	B通訳理論8	通訳現場における「場の調整力」（1）
		15:00-16:30	オンライン	B通訳理論9	通訳現場における「場の調整力」（2）
9/20	火	20:00-21:30	オンライン	A通訳理論10	ろう通訳者の役割
10/4	火	20:00-21:30	オンライン	A通訳理論11	聴通訳とろう通訳の協働することの意義
9/17	土	13:10-14:40	オンライン	B通訳理論10	ろう通訳者の役割
		15:00-16:30	オンライン	B通訳理論11	聴通訳とろう通訳の協働することの意義
10/15	土	09:00-10:30	オンライン	A通訳理論12	事例検討（1）
		10:40-12:10	オンライン	A通訳理論13	事例検討（2）
		13:10-14:40	オンライン	A通訳理論14	事例検討（3）
		15:00-16:30	オンライン	A通訳理論15	事例検討（4）まとめ
10/1	土	09:00-10:30	オンライン	B通訳理論12	事例検討（1）
		10:40-12:10	オンライン	B通訳理論13	事例検討（2）
		13:10-14:40	オンライン	B通訳理論14	事例検討（3）
		15:00-16:30	オンライン	B通訳理論15	事例検討（4）まとめ
10/29	土	09:00-10:30	オンライン	ろう/フィ	「翻訳」とは何か
		10:40-12:10	オンライン	ろう/フィ	翻訳理論（1） 日本手話→日本語
		13:10-14:40	オンライン	ろう/フィ	翻訳理論（2） 日本語→日本手話
		15:00-16:30	オンライン	ろう/フィ	講義「コミュニティ通訳」
11/5	土	09:00-10:30	オンライン	ろう通訳	通訳基礎トレーニング（1）
		10:40-12:10	オンライン	ろう通訳	通訳基礎トレーニング（2）
		13:10-14:40	オンライン	ろう/フィ	講義「ろう通訳を経験して」「リーダーを経験して」
		15:00-16:30	オンライン	ろう/フィ	ディスカッション「CO通訳を考える」
11/19	土	10:40-12:10	オンライン	ろう/フィ	通訳演習(1) Xチーム
		13:10-14:40	オンライン	ろう/フィ	通訳演習(2) Xチーム
		15:00-16:30	オンライン	ろう/フィ	通訳演習(3) Xチーム
11/20	日	10:40-12:10	対面	ろう/フィ	通訳演習(4) Xチーム
		13:10-14:40	対面	ろう/フィ	通訳演習(5) Xチーム
		15:00-16:30	対面	ろう/フィ	通訳演習(6) Xチーム
11/26	土	10:40-12:10	オンライン	ろう/フィ	通訳演習(1) Zチーム
		13:10-14:40	オンライン	ろう/フィ	通訳演習(2) Zチーム
		15:00-16:30	オンライン	ろう/フィ	通訳演習(3) Zチーム
11/27	日	10:40-12:10	対面	ろう/フィ	通訳演習(4) Zチーム
		13:10-14:40	対面	ろう/フィ	通訳演習(5) Zチーム
		15:00-16:30	対面	ろう/フィ	通訳演習(6) Zチーム
12/11	日	am	対面	ろう/フィ	(自主準備) Xチーム
		13:10-14:40	対面	ろう/フィ	通訳実習(1) 講演会 通訳 Xチーム オンラインZチーム
		15:00-16:30	対面	ろう/フィ	通訳実習(2) 講演会 通訳 Xチーム オンラインZチーム
		16:40-18:10	対面	ろう/フィ	通訳実習(3) フィードバック・まとめ XZチーム合同
12/18	日	am	対面	ろう/フィ	(自主準備) Zチーム
		13:10-14:40	対面	ろう/フィ	通訳実習(1) 講演会 通訳 Zチーム オンラインXチーム
		15:00-16:30	対面	ろう/フィ	通訳実習(2) 講演会 通訳 Zチーム オンラインXチーム
		16:40-18:10	対面	ろう/フィ	通訳実習(3) フィードバック・まとめ XZチーム合同

通訳演習

Xチーム 11月19日・20日 ふれあい会議室(品川)

Zチーム 11月26日・27日 アットビジネスセンター東京駅八重洲通り

11月19日(土)・11月27日(日) 模擬通訳(講演会)

場面設定:

大森区ろう協会主催ミニ講演会

「藤子不二雄 まんが道」(30分)

講師:学芸員

場所:大森区民会館大研修室(架空)

10:40-12:10 演習(通訳打ち合わせ、フィードバック)

13:10-14:40 演習(通訳、フィードバック)

15:00-16:30 演習(2回目の通訳、フィードバック)

11月20日(日) 模擬通訳(コミュニティ通訳)

コミュニティ通訳

午前1 相談場面における通訳演習(精神的疾患を抱えたろう女性、相続した財産の管理)

午後1 医療場面における通訳演習1

(レディースクリニック、疲れが取れず、更年期障害を疑っている)

午後2 医療場面における通訳演習2

(眼科医院、目がおかしい)

11/26(土)模擬通訳(コミュニティ)

コミュニティ通訳

午前1 相談場面における通訳演習(認知症のろう男性、交通事故示談)

午後1 医療場面における通訳演習1

(レディースクリニック、疲れが取れず、更年期障害を疑っている)

午後2 医療場面における通訳演習2

(眼科医院、目がおかしい)

通訳実習

特別講演会(オンライン)において実際に通訳を行なった。

1 「手話放送とは」 12月11日(日) Xチーム6人 申込者71人

2 「ジェンダーとアイデンティティ」 12月18日(日) Zチーム6人 申込者57人

オンライン配信場所: AP 丸の内東京

(補足)大分県聴覚障害者センターで開講された「ろう通訳者養成講座/フィーダー養成講座」も手話教師センターから講師が派遣された。

3 ろうフィを育てる(1)

コミュニティ領域における専門性を高めるため、さまざまな分野の講師をお呼びし、オンラインで研修会を実施した。また同時にろう通訳者や聴通訳者による自発的な自主研修会を行なった。また、通訳機会確保(研修)のために特別講演会を1件実施した。

専門性を高めるための研修(医療・福祉・倫理綱領・翻訳)
特別講演会(通訳機会確保のため)
ろう通訳者・聴通訳者による自主研修会

ろうフィを育てる コミュニティ通訳領域									
		内容	期間	曜	回数	講師	ろう通訳者	聴通訳者	計
1	医療分野	医療のあれこれ	10月17日～2月13日	月	5	田崎ゆき	3	3	6
2	福祉分野	精神保健福祉分野について学ぼう	10月20日～1月26日	木	5	甲斐更紗	4	2	6
3	倫理綱領	手話通訳士倫理綱領を基本から学ぼう	10月14日～11月18日	金	5	鈴木唯美/高井 洋	5	1	6
4	翻訳分野	ろう通訳者のための翻訳研修会	10月31日～12月5日	月	5	宮澤典子	4	-	4
5	通訳実習	特別講演会「防災への心構え」	10月30日	日	1	玉田太郎	2	2	4
6	自主研修会	(別紙)	4月7日～翌年3月22日	*	13	*	70	37	107
							88	45	133
						*特別講演会の参加人数			60
								計	193

(別紙) ろう通訳者・フィーダー自主研修会 2022									
		研修日	時間	内容	担当	ろう通訳者	聴通訳者	計	
1	第44回	4月7日	20:00-21:30	ことわざを翻訳	前川	7	2	9	
2	第45回	4月19日	20:00-21:30	抑圧について(通訳者からろう者への抑圧、ろう者から通訳者への抑圧)	江原	7	2	9	
3	第46回	5月12日	20:00-21:30	免疫と消化について説明する(小2向け・高齢者向け)	宮澤	5	5	10	
4	第47回	6月10日	20:00-21:30	司法裁判について(司法裁判とは?(ミニ講義)、起訴状を翻訳する)	黒坂	3	3	6	
5	第48回	7月13日	20:00-21:30	安倍晋三襲撃事件に関するニュース(音声日本語を聞いて通訳)	前川	5	3	8	
6	第49回	9月7日	20:00-21:30	事例検討(SNSとの付き合い方、守秘義務について)	小林	4	3	7	
7	第50回	10月18日	20:00-21:30	ろう通訳と表現者の違い(江副悟史氏)	小林	6	2	8	
8	第51回	11月25日	20:00-21:30	事例検討(医療場面・会社の昇格試験)	蓮池	6	2	8	
9	第52回	12月13日	20:00-21:30	ハートネットのろう通訳の番組をみて分析	寺澤	5	1	6	
10	第53回	12月20日	20:00-21:30	コラムを手話に翻訳	小野寺	6	3	9	
11	第54回	2月1日	20:00-21:30	聞き取り表現(フィーダーとろう通訳)	寺澤	6	5	11	
12	第55回	2月21日	20:00-21:30	「ローソンの歴史」を翻訳	竹内	5	1	6	
13	第56回	3月22日	20:00-21:30	ミニ模擬通訳	蓮池	5	5	10	
						70	37	107	

4 ろうフィを育てる(2)

ろう通訳者・フィーダーの通訳訓練の場として、通訳 OJT(On the Job Training)を12件実施した。

通訳OJTプログラム 2022								
	日時	曜	通訳時間	場所	内容	ろう通訳者	聴通訳者	計
1	4月9日	土	12:00-14:30	中野（東京） オンライン配信場所	講演会（リハーサル） 「手話通訳をするとは？～言語の特性を活かして～」	2	3	5
2	4月20日	水	20:30-21:30	オンライン	TISLR14準備委員会	2	2	4
3	4月23日	土	10:00-12:00	中野（東京） オンライン配信場所	講演会（本番） 「手話通訳をするとは？～言語の特性を活かして～」	2	3	5
4	9月3日	土	10:00-12:00	秋葉原（東京） オンライン配信場所	講演会 「マジョリティの特権」	2	2	4
5	9月3日	土	14:00-16:00	実践女子大学 渋谷キャンパス（東京）	国際ジェンダー学会 シンポジウム「パンデミック禍のケア—その困難と課題」	2	2	4
6	10月23日	土	10:00-12:00	長野市ふれあい福祉センター（長野）	聴覚障害者教養講座「家族が亡くなったとき～準備から葬儀、その後まで～」	2	2	4
7	10月30日	土	10:00-11:30	AP日本橋（東京） オンライン配信場所	特別講演会「防災への心構え」	2	2	4
8	10月20日	月	19:30-21:00	オンライン	研修会「医療のあれこれ」	1	1	2
9	11月28日	月	19:30-21:00	オンライン	研修会「医療のあれこれ」	1	1	2
10	2月18日	土	10:00-14:30	東京大学先端科学技術 研究センター（東京） オンライン配信場所	第4回国際障害者インクルージョン シンポジウム（1日目）	4	4	8
11	2月19日	日	8:50-15:00	東京大学先端科学技術 研究センター（東京） オンライン配信場所	第4回国際障害者インクルージョン シンポジウム（2日目）	4	4	8
12	*	*	*	関西学院大学（兵庫） 収録場所	2022年度基礎ゼミナール「医学教育 研究室」への手話通訳挿入 （オンデマンド動画）	2	1	3
計						26	27	53

通訳OJTプログラムではないが、ろう通訳者養成講座・フィーダー養成講座の修了生が通訳を担当したものとしては下記のとおりである。

- NHK(Eテレ) ハートネットTVに手話通訳として出演
- TISLR14(第14回国際手話言語学会)における手話通訳
- 国立民族学博物館 特別言語展示 Homō loquēns「しゃべるヒト」～ことばの不思議を科学する～ 動画に手話通訳挿入
- 「日本科学未来館のご案内」動画に手話通訳として出演
- 「手話と音声ガイドによる東京都写真美術館のご案内」動画に手話通訳として出演
- 世界遺産 仁和寺 PR 動画に手話通訳挿入
- 聴覚障害者情報提供施設「頸肩腕症候群について」動画に手話通訳挿入

(ほか多数)

5 学術分野に対応できるろうフィを育てる

ろう者や聴覚障害者、手話等の学会、研究会、シンポジウム等に対応できるろう通訳者、リーダーを育てることが目的である。特に今年度は、2022 年秋に大阪で開催した TISLR14 (Theoretical Issues in Sign Language Research、第14回国際手話言語学会)に焦点をあて、さまざまな研修を行なった。

また、オンラインというメリットを最大限に活かし、海外の講師に指導してもらう機会も得た。

ただ、TISLR14 のために開講されたミニ講座の件数が多いため、受講側もキャパシティを超えてしまい、「ゼロから学ぶ英語の読解」は中止となった。

学術通訳の心構え／国際手話を学ぼう／ゼロから学ぶ英語の読解(中止)／手話言語学を学ぼう

学術通訳に対応できるろうフィを育てる 2022							
	内容	期間	回数	講師	ろう通訳者	聴通訳者	計
1	学術通訳の心構え	7月11日・7月19日	5	テスター・クリストファー	4	2	6
2	国際手話を学ぼう	6月9日～8月18日*	5	ロバート・アダム	2	3	5
3	手話言語学を学ぼう	6月2日～8月25日(木)	10	森 壮也	4	4	8
4	ゼロから学ぶ英語の読解 *中止	7月27日～8月24日(水)	5	蓮池通子	0	0	0
5	TISLR14 ミニ講座	5月29日～8月28日	25	(別紙)	95	46	141
					105	55	160

* 全5回のうち2回日程変更のため、終了日が案内分とは異なっている

TISLR14 ミニ講座 (25回)

TISLR14(Theoretical Issues in Sign Language Research
(第14回国際手話言語学会)

場所: 国立民族学博物館

日時: 2022 年 9 月 27 日(火)～30 日(金)

*通訳ブリーフィング 9 月 25 日(日)・26 日(月)

上記学会にろう通訳者養成講座及びリーダー養成講座修了生を中心に日本手話の通訳を行うことになったが、この学会はハイレベルで専門性の高いものであるため、通訳に対応するための知識を身につけるため、ミニ講座を行うことにした。

TISLR14 の発表者に、アブストラクト内容をオンラインで講義していただくことを了承していただいた方にミニ講義をお願いした。アブストラクト内容を1時間ほど話していただき、講師退出後に、残ったメンバーで30分ほど復習する時間を設けた。

TISLR14 で実際に通訳を担当する人だけでなく、ろう通訳者養成講座、リーダー養成講座の修了生にも呼びかけ、手話言語学に関する専門的な知識や、先駆的な研究内容を知ってもらう機会を提供した。

(ただし、目的外となるため、発表者の了承を得たもののみ呼びかけ。)

別紙

TISLR14 ミニ講座 (日付順)							
	*	発表テーマ	発表者氏名	日時	使用言語	ろう	聴
1	S-09	日本手話、台湾手話、韓国手話における通時的变化-親族表現に着目して-	Keiko Sagara	5/29	日本手話	7	6
2	S-08	Creating original sign language children's stories using linguistic features	Rachel Sutton-Spence	6/18	IS	4	1
3	S-05	Exophoric demonstratives in ASL	Paul Twitchell	6/19	ASL	2	2
4	S-28	Characteristics of subject relativization with SELF in German Sign Language: a corpus-based study	Okan Kubus	7/2	IS	3	3
5	S-16	Establishing locations in topographic space in the tactile signed modality	Johanna Mesch	7/3	IS	4	2
6	S-24	Where are the deaf BIPOC Global South researchers? Examining parity and inclusion in the field of sign language linguistics	Lynn Hou (Lina Hou)	7/10	IS	2	1
7	L-02	How interacting minds make language: The creative forces behind homesign, sign languages, and all human communication	Marie Coppola	7/17	ASL	4	4
8	S-18	Cross-linguistic distributional properties of phonological handshape	Rachel Miles	7/30	IS	4	2
9	S-20	Open-Source Pipeline for Skeletal Modeling of Sign Language Utterances from 2D Video Sources	Aline Normoyle	7/30	英語	5	2
10	S-02	Lexical conventionalization requires a community of primary users, communicative interactions are not enough	Madeline Quam	7/31	ASL	4	3
11	S-30	Not just any sign: Searching for negative polarity items in DGS	Cornelia Loos	8/1	英語	3	2
12	S-19	L2 Signer Accent: Phonological Development in ASL Learners	Kaj Kraus	8/5	ASL	3	3
13	S-29	Comparative constructions in sign language: A comparative study between LIS and CSL	Mirko Santoro	8/6	IS	4	2
14	S-31	Interruptions or Open Participation? Turn Overlaps in ASL Classrooms	Laura Horton	8/7	ASL	4	1
15	S-12	"Not good enough", or just "not enough"? Quality and quantity of signed input in DHH children from hearing families	Matt Hall	8/8	ASL	4	2
16	S-04	Number of competing referents matters for choice of pronoun in ASL	Anne Therese Frederiksen	8/11	英語/ASL	3	0
17	S-26	Native Signing vs. Sign-Naive Children's Perceptual Gaze Patterns for Linguistic and Non-Linguistic Body Actions	Rain Bosworth	8/13	ASL	4	0
18	S-07	Not all points are the same from a child's eyes	Jenny Lu	8/14	IS	4	0
19	L-01	Corpus potential: Using variables to reveal the secrets of a sign language	Nick Palfreyman	8/15	IS	4	2
20	S-11	The social structure of signing communities and lexical variation: A cross-linguistic comparison of three unrelated sign languages	Hannah Lutzenberger (Katie Mudd)	8/16	IS	4	1
21	S-03	Full reduplication as a derivative process in Catalan Sign Language (LSC): Frequency rate, path and circular movements	Aida Villaécija	8/18	英語	4	3
22	S-32	The pragmatic skills of homesigners: Other-initiated repair in Balinese homesign	Connile de Vos	8/19	IS	4	2
23	S-23	lughat umm/arabi mukasser: competing discourses about Jordanian Sign Language (LIU) in Amman	Timothy Y. Loh	8/21	ASL	3	2
24	S-01	Why rain and water don't go together, but friends and elasticity do: An exploratory study of colexification in two sign languages	Nia Lazarus	8/23	ASL	4	0
25	S-27	The relationship between joint gaze, object manipulation, and sustained attention in deaf children acquiring ASL	Allison Fitch	8/28	ASL	4	0
					延べ人数	95	46

6 資格化をめざす

ろう通訳者の資格化にむけ、下記の2つを行なった。

(1) 手話通訳技能認定試験に向けた対策

手話通訳技能認定試験(手話通訳士試験)の試験対策として「手話通訳士と同等の知識を得るための勉強会」を開講した。

知識系の講師は3人で、いずれも手話通訳士(聴者)である。科目ごとに担当を決め、日本手話で講義を進めた。

実技系の講師は2人で、いずれも手話通訳士(聴者)である。音声日本語から手話への通訳については、いろいろなパターンを試みたが、英検のリスニング試験において、テロップ受験(音声英語を文字で右から左へ流れる)がいちばん公平性という観点ではベストではないかということになった。

手話通訳士と同等の知識を得るための勉強会					
	講座名	実施日	実施時間	申込人数	実際の受講人数
1	障害者福祉の基礎知識－1	5月17日(火)	20時～21時半	9	8
2	障害者福祉の基礎知識－2	6月7日(火)	20時～21時半		
3	障害者福祉の基礎知識－3	6月28日(火)	20時～21時半		
4	障害者福祉の基礎知識－4	7月5日(火)	20時～21時半		
5	障害者福祉の基礎知識－5	7月12日(火)	20時～21時半		
6	聴覚障害者に関する基礎知識－1	5月23日(月)	20時～21時半	12	11
7	聴覚障害者に関する基礎知識－2	6月1日(水)	20時～21時半		
8	聴覚障害者に関する基礎知識－3	6月20日(月)	20時～21時半		
9	聴覚障害者に関する基礎知識－4	6月24日(金)	20時～21時半		
10	聴覚障害者に関する基礎知識－5	7月8日(金)	20時～21時半		
11	手話通訳のあり方－1	5月27日(金)	20時～21時半	13	11
12	手話通訳のあり方－2	6月13日(月)	20時～21時半		
13	国語－1	6月17日(金)	20時～21時半	12	8
14	国語－2	7月1日(金)	20時～21時半		
15	国語－3	7月20日(水)	20時～21時半		
16	実技－1	8月8日(月)	20時～21時半	8	7
17	実技－2	8月19日(金)	20時～21時半		
18	実技－3	8月26日(金)	20時～21時半		
19	実技－4	8月29日(月)	20時～21時半		
20	実技－5	9月12日(月)	20時～21時半		
				54	45

第33回(令和4年度)手話通訳技能認定試験(手話通訳士試験)に、ろう者10人が受験を申し込んだが、試験の開始等の情報保障はするが、実技試験に関する合理的配慮は行わないという連絡を受け、3名が受験を辞退した。最終的に、学科試験にろう者7名が受験、うち6名が合格し

た。

学科試験に合格したひとりがろう受験者を代表して、試験実施機関である社会福祉法人聴力障害者文化センターに実技試験における合理的配慮を求めたが、試験の案内や開始・終了の合図に手話通訳をつけることは可能だが、音声日本語から手話へ、また手話から音声日本語への試験については対応できない旨の回答があった。そのため、現行の試験とは別に、「ろう者の通訳資格化」について検討して欲しい旨の要望書を提出した。

(追記)第34回(令和5年度)手話通訳技能認定試験(手話通訳士試験)の学科試験免除の案内が2022年2月に届いたことにより、ろう受験者の代表が改めて、①ろう者の通訳資格化についての進捗状況 ②実技試験においてろう者に対する合理的配慮に関する再検討の可能性の2つについて問い合わせた。同年3月15日付で ①の要望書については厚生労働省に届けたが、その後の取り扱いについては承知していないこと ②については、第33回試験と同様とし、変更はないという旨の回答があった。

(2)「ろう通訳トリセツ」冊子の発行

手話通訳派遣機関等が「ろう通訳者」を使ってもらえるよう、ひとつの冊子にまとめる計画だったが、出版社に働きかけたところ、2023年度夏に刊行予定で「ろう通訳トリセツ」(仮題)を刊行する運びとなった。

コンセプトの確認

- ・「ろう通訳者」のことがわからない人に対する解説
- ・「ろう通訳者」の有効な使い方を解説

ターゲットの確認

- ・通訳コーディネーター(手話通訳派遣機関等)
- ・通訳利用者(ろう者、手話通訳を使いたい人等)
- ・手話通訳士・手話通訳者
- ・手話、手話通訳に関心のある人

本年度において、下記を行なった。

インタビュー記事

(1)ナイジェル・ハワード氏(カナダのろう通訳者) インタビュアー:寺澤英弥

(2)クリストファー・ストーン氏(WASLI 会長) インタビュアー:武田太一

(3)池田真氏(ろうソーシャルワーカー、米国在住) 取材者:鈴木美彩

- ・インタビュー内容を文字起こし、リライト作業
- ・取材記事のリライト作業

2022年度 <Aコース> (修正) オンライン翻訳講座 受講生募集のご案内 翻訳の考え方を見直そう!

(コミュニティ&学術分野におけるろう通訳者・リーダー養成事業)

自宅にいながら学べるオンライン翻訳講座を本年度も開講することになりました!

インターネットにアクセスできる環境とマイク・カメラ(ウェブカメラ)がついているパソコンをご用意ください。Googleクラスルームを使って学習を進めます。

翻訳課題は6本を予定しており、丁寧に添削します。オンラインによる学習会は6回です。

対象：Aコース 手話通訳者全国統一試験合格をめざしている方

*「手話通訳者全国統一試験に合格した方」及び「手話通訳士」の方は受講をご遠慮ください。

内容：翻訳課題6本、オンライン学習会6回

講師：宮澤典子

受講定員：各6名

受講料：一般12,000円、サポーター10,000円



宮澤典子

Aコース 木曜日 20:00-21:30

翻訳課題締切	月	5月25日	6月27日	7月25日	8月22日	9月26日	10月17日
オンライン学習会	木	6月2日	7月7日	8月4日	9月1日	10月6日	10月27日

●お申し込み期限

2022年5月5日(木) *5/8前後に抽選の結果をお知らせします。

●お申込は下記サイトをご利用ください。

<https://forms.gle/XPNo3evq2KKM4WMI6>

QRコードからもお申込みできます。👉



👉お申し込みは
QRコードから

*応募者多数の場合は、抽選になります。

*定員に満たなかった場合、中止することがあります。

*ご入金いただいた後の返金はできません。

👉参考 各コースについて

A：手話通訳者全国統一試験合格をめざしている者(2クラス)

B：手話通訳者全国統一試験、または各自治体の登録試験に合格した者(5クラス)

C：手話通訳士(3クラス)

D：ろう通訳者等(2クラス)

全部で12クラス用意しております

予告 *募集は7月末を予定しています

【Aコース 水曜日 午前クラス】

オンライン学習会(10:30-12:00)

ホームページ等でご確認ください



特定非営利活動法人手話教師センター事務局

事務局：info@jslhc.org

URL：<http://www.jslhc.org/>

fax：03-4579-0518

Supported by
日本
財団
THE NIPPON
FOUNDATION

2022年度 <Aコース> 後期 オンライン翻訳講座 受講生募集のご案内 翻訳の考え方を見直そう！

(コミュニティ&学術分野におけるろう通訳者・リーダー養成事業)

自宅にいながら学べるオンライン翻訳講座を本年度も開講することになりました！

インターネットにアクセスできる環境とマイク・カメラ（ウェブカメラ）がついているパソコンをご用意ください。Googleクラスルームを使って学習を進めます。

翻訳課題は6本を予定しており、丁寧に添削します。オンラインによる学習会は6回です。

対象：Aコース 手話通訳者全国統一試験合格をめざしている方

*「手話通訳者全国統一試験に合格した方」及び「手話通訳士」の方は受講をご遠慮ください。

内容：翻訳課題6本、オンライン学習会6回

講師：宮澤典子

受講定員：各6名

受講料：一般12,000円、サポーター10,000円



宮澤典子

Aコース 水曜日 10:30-12:00

翻訳課題締切	日	9月25日	10月16日	11月6日	11月27日	12月25日	1月22日
オンライン学習会	水	10月5日	10月26日	11月16日	12月7日	1月11日	2月1日

●お申し込み期限

2022年8月31日（水）*9/3前後に抽選の結果をお知らせします。

●お申込は下記サイトをご利用ください。

<https://forms.gle/Msze1NEwk5WYQLVG7>

QRコードからもお申込みできます。👉



👉お申し込みは
QRコードから

*日時をご確認のうえお申し込みください。

*応募者多数の場合は、抽選になります。

*定員に満たなかった場合、中止することがあります。

*ご入金いただいた後の返金はできません。

👉参考 各コースについて

A：手話通訳者全国統一試験合格をめざしている者（2クラス）

B：手話通訳者全国統一試験、または各自治体の登録試験に合格した者（5クラス）

C：手話通訳士（3クラス）

D：ろう通訳者等（2クラス）

全部で12クラス用意しております



特定非営利活動法人手話教師センター事務局

事務局： info@jsltc.org

URL: <http://www.jsltc.org/>

fax: 03-4579-0518

Supported by
日本
財団
THE NIPPON
FOUNDATION

2022年度 <Bコース> (修正) オンライン翻訳講座 受講生募集のご案内 翻訳の考え方を見直そう!

(コミュニティ&学術分野におけるろう通訳者・リーダー養成事業)

自宅にいながら学べるオンライン翻訳講座を本年度も開講することになりました!

インターネットにアクセスできる環境とマイク・カメラ(ウェブカメラ)がついているパソコンをご用意ください。Googleクラスルームを使って学習を進めます。

翻訳課題は6本を予定しており、丁寧に添削します。オンラインによる学習会は6回です。

対象: Bコース 手話通訳者全国統一試験、または各自治体の登録試験に合格した方

*「上記試験に合格していない方」及び「手話通訳士」の方は受講をご遠慮ください。

内容: 翻訳課題6本、オンライン学習会6回

講師: 宮澤典子



受講定員: 各6名

受講料・一般12,000円 サポーター10,000円

Bコース 木曜日 10:30-12:00

翻訳課題締切	月	5月25日	6月27日	7月25日	8月22日	9月26日	10月17日
オンライン学習会	木	6月2日	7月7日	8月4日	9月1日	10月6日	10月27日

Bコース 木曜日 14:00-15:30

翻訳課題締切	月	5月23日	6月13日	7月11日	8月8日	9月5日	10月3日
オンライン学習会	木	5月26日	6月23日	7月21日	8月18日	9月15日	10月13日

Bコース 木曜日 20:00-21:30

翻訳課題締切	月	5月23日	6月13日	7月11日	8月8日	9月5日	10月3日
オンライン学習会	木	5月26日	6月23日	7月21日	8月18日	9月15日	10月13日

●お申し込み期限

2022年5月5日(木) *5/8前後に抽選の結果をお知らせします。

●お申込は下記サイトをご利用ください。

<https://forms.gle/dNRfFrGrGaVDkHfs5>

QRコードからもお申し込みできます。👉



QRコードからお申し込みいただけます

👉 参考 各コースについて

A: 手話通訳者全国統一試験合格をめぐしている者(2クラス)

B: 手話通訳者全国統一試験、または各自治体の登録試験に合格した者(5クラス)

C: 手話通訳士(3クラス)

D: ろう通訳者等(2クラス)

全部で12クラス用意しております

*応募者多数の場合は、抽選になります。

*定員に満たなかった場合、中止することがあります。

*ご入金いただいた後の返金はできません。

👉 予告

7月末に水曜夜間コース、木曜日昼間コースのご案内をする予定です。ホームページ等でご確認ください。



特定非営利活動法人手話教師センター事務局

事務局: info@jsltc.org

URL: <http://www.jsltc.org/>

fax: 03-4579-0518

Supported by
日本
財団
THE NIPPON
FOUNDATION

2022年度 <Bコース> 後期 オンライン翻訳講座 受講生募集のご案内 翻訳の考え方を見直そう！

(コミュニティ&学術分野におけるろう通訳者・リーダー養成事業)

自宅にいながら学べるオンライン翻訳講座を本年度も開講することになりました！

インターネットにアクセスできる環境とマイク・カメラ（ウェブカメラ）がついているパソコンをご用意ください。Googleクラスルームを使って学習を進めます。

翻訳課題は6本を予定しており、丁寧に添削します。オンラインによる学習会は6回です。

対象：Bコース 手話通訳者全国統一試験、または各自治体の登録試験に合格した方

*「上記試験に合格していない方」及び「手話通訳士」の方は受講をご遠慮ください。

内容：翻訳課題6本、オンライン学習会6回

講師：宮澤典子



受講定員：各6名

受講料：一般12,000円、サポーター10,000円

Bコース 水曜日 20:00-21:30

翻訳課題締切	日	9月25日	10月16日	11月6日	11月27日	12月25日	1月22日
オンライン学習会	水	10月5日	10月26日	11月16日	12月7日	1月11日	2月1日

Bコース 木曜日 14:00-15:30

翻訳課題締切	月	12月26日	1月16日	1月30日	2月13日	2月27日	3月13日
オンライン学習会	木	1月12日	1月26日	2月9日	2月23日	3月9日	3月23日

●お申し込み期限

Bコース（水曜日・夜間）

2022年8月31日（木）*9/3前後に抽選の結果をお知らせします。

Bコース（木曜日・午後）

2022年11月19日（日）*11/26前後に抽選の結果をお知らせします。

QRコードから
お申し込みいただけます



●お申込は下記サイトをご利用ください。

<https://forms.gle/dNRfFrGrGaVDkHfs5>

QRコードからもお申し込みできます。👉

*日時をご確認のうえお申し込みください。

*応募者多数の場合は、抽選になります。

*定員に満たなかった場合、中止することがあります。

*ご入金いただいた後の返金はできません。

📌 参考 各コースについて

A：手話通訳者全国統一試験合格をめぐしている者（2クラス）

B：手話通訳者全国統一試験、または各自治体の登録試験に合格した者（5クラス）

C：手話通訳士（3クラス）

D：ろう通訳者等（2クラス）

全部で12クラス用意しております



特定非営利活動法人手話教師センター事務局

事務局： info@jsltc.org

URL: <http://www.jsltc.org/>

fax: 03-4579-0518

Supported by
日本
財団
THE NIPPON
FOUNDATION

2022年度 <Cコース> (修正) オンライン翻訳講座 受講生募集のご案内

翻訳の考え方を見直そう！

(コミュニティ&学術分野におけるろう通訳者・リーダー養成事業)

自宅にいながら学べるオンライン翻訳講座を本年度も開講することになりました！

インターネットにアクセスできる環境とマイク・カメラ（ウェブカメラ）がついているパソコンをご用意ください。Googleクラスルームを使って学習を進めます。

翻訳課題は6本を予定しており、丁寧に添削します。オンラインによる学習会は6回です。

対象：Cコース 手話通訳士の方
*手話通訳士以外の方はご遠慮ください。

内容：翻訳課題6本、オンライン学習会6回
講師：宮澤典子
受講定員：各6名
受講料：一般12,000円、サポーター10,000円



宮澤典子

Cコース 月曜日 20:00-21:30

翻訳課題締切		5月22日	6月23日	7月21日	8月18日	9月22日	10月13日
オンライン学習会	月	5月30日	7月4日	8月1日	8月29日	10月3日	10月24日

●お申し込み期限

2022年5月5日（木）*5/8前後に抽選の結果をお知らせします。

●お申込は下記サイトをご利用ください。
<https://forms.gle/DWgTD2LzGwnbkpFB6>
QRコードからもお申込みできます。👉



QRコードからお申し込みいただけます

*応募者多数の場合は、抽選になります。
*定員に満たなかった場合、中止することがあります。
*ご入金いただいた後の返金はできません。

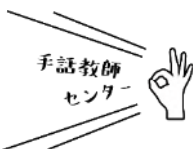
👉 参考 各コースについて

A：手話通訳者全国統一試験合格をめざしている者（2クラス）
B：手話通訳者全国統一試験、または各自治体の登録試験に合格した者（5クラス）
C：手話通訳士（3クラス）
D：ろう通訳者等（2クラス）

全部で12クラス用意しております

👉 予告

8月下旬に火曜午前コース、10月下旬に木曜日夜間間コースのご案内をする予定です。ホームページ等でご確認ください。



特定非営利活動法人手話教師センター事務局

事務局： info@jsltc.org
URL: <http://www.jsltc.org/>
fax: 03-4579-0518

Supported by
日本
財団
THE NIPPON
FOUNDATION

2022年度 <Cコース> 後期 オンライン翻訳講座 受講生募集のご案内

翻訳の考え方を見直そう！

(コミュニティ&学術分野におけるろう通訳者・リーダー養成事業)

自宅にいながら学べるオンライン翻訳講座を本年度も開講することになりました！

インターネットにアクセスできる環境とマイク・カメラ（ウェブカメラ）がついているパソコンをご用意ください。Googleクラスルームを使って学習を進めます。

翻訳課題は6本を予定しており、丁寧に添削します。オンラインによる学習会は6回です。

対象：Cコース 手話通訳士の方
*手話通訳士以外の方はご遠慮ください。

内容：翻訳課題6本、オンライン学習会6回
講師：宮澤典子
受講定員：各6名
受講料：一般12,000円、サポーター10,000円



宮澤典子

Cコース 火曜日 14:00-15:30

翻訳課題締切	日	11月13日	12月4日	12月25日	1月22日	2月12日	3月5日
オンライン学習会	火	11月22日	12月13日	1月10日	1月31日	2月21日	3月14日

Cコース 木曜日 20:00-21:30

翻訳課題締切	月	12月26日	1月16日	1月30日	2月13日	2月27日	3月13日
オンライン学習会	木	1月12日	1月26日	2月9日	2月23日	3月9日	3月23日

●お申し込み期限

Cコース 火曜（午後）
2022年10月2日（日）*10/7前後に抽選の結果をお知らせします。

Cコース 木曜（夜間）
2022年11月19日（日）*11/26前後に抽選の結果をお知らせします。

●お申込は下記サイトをご利用ください。

<https://forms.gle/DWgTD2LzGwnbkbFB6>

QRコードからもお申込みできます。👉

- *日時をご確認のうえお申し込みください。
- *応募者多数の場合は、抽選になります。
- *定員に満たなかった場合、中止することがあります。
- *ご入金いただいた後の返金はできません。



QRコードからお申し込みいただけます

📖 参考 各コースについて

A：手話通訳者全国統一試験合格をめざしている者（2クラス）

B：手話通訳者全国統一試験、または各自治体の登録試験に合格した者（5クラス）

C：手話通訳士（3クラス）

D：ろう通訳者等（2クラス）

全部で12クラス用意しております



特定非営利活動法人手話教師センター事務局

事務局： info@jsltc.org

URL: <http://www.jsltc.org/>

fax: 03-4579-0518

Supported by

THE NIPPON
FOUNDATION

2022年度 <Dコース> オンライン翻訳講座 受講生募集のご案内

翻訳の考え方を見直そう！ ろう通訳者対象！

(コミュニティ&学術分野におけるろう通訳者・リーダー養成事業)

自宅にいながら学べるオンライン翻訳講座をろう通訳者向けに開講することになりました！

インターネットにアクセスできる環境とカメラ（ウェブカメラ）がついているパソコンをご用意ください。Googleクラスルームを使って学習を進めます。

翻訳課題は6本を予定しており、丁寧に添削します。オンラインによる学習会は6回です。

対象：Dコース ろう通訳者（ろう通訳者をめざしている方もご応募できます）
* ろう者以外の方はご遠慮ください

内容：翻訳課題6本、オンライン学習会6回
講師：宮澤典子
受講定員：各6名
受講料：一般12,000円、法人会員・サポーター10,000円



Dコース 水曜日 20:00-21:30

翻訳課題締切	日	6月1日	6月19日	7月10日	8月7日	8月21日	9月18日
オンライン学習会	水	6月8日	6月29日	7月20日	8月17日	8月31日	9月28日

●お申し込み期限

2022年5月5日（木）*5/8前後に抽選の結果をお知らせします。

●お申込は下記サイトをご利用ください。
<https://forms.gle/AsJ67pS6aMUhEr1N7>
QRコードからもお申込みできます。👉



QRコードからお申し込みいただけます

- *応募者多数の場合は、抽選になります。
- *定員に満たなかった場合、中止することがあります。
- *ご入金いただいた後の返金はできません。

👉 参考 各コースについて

- A：手話通訳者全国統一試験合格をめざしている者（2クラス）
- B：手話通訳者全国統一試験、または各自治体の登録試験に合格した者（5クラス）
- C：手話通訳士（3クラス）
- D：ろう通訳者等（2クラス）

全部で12クラス用意しております

👉 予告

8月下旬に火曜夜間コースのご案内をする予定です。ホームページ等でご確認ください。



特定非営利活動法人手話教師センター事務局
事務局： info@jsltc.org
URL: <http://www.jsltc.org/>
fax: 03-4579-0518

Supported by
日本
該
回
THE NIPPON
FOUNDATION

2022年度 <Dコース> 後期 オンライン翻訳講座 受講生募集のご案内

翻訳の考え方を見直そう！ ろう通訳者対象！

(コミュニティ&学術分野におけるろう通訳者・リーダー養成事業)

自宅にいながら学べるオンライン翻訳講座をろう通訳者向けに開講することになりました！

インターネットにアクセスできる環境とカメラ（ウェブカメラ）がついているパソコンをご用意ください。Googleクラスルームを使って学習を進めます。

翻訳課題は6本を予定しており、丁寧に添削します。オンラインによる学習会は6回です。

対象：Dコース ろう通訳者（ろう通訳者をめざしている方もご応募できます）

* ろう者以外の方はご遠慮ください

内容：翻訳課題6本、オンライン学習会6回

講師：宮澤典子

受講定員：各6名

受講料：一般12,000円、法人会員・サポーター10,000円



Dコース 火曜日 20:00-21:30

翻訳課題締切	日	11月13日	12月4日	12月25日	1月22日	2月12日	3月5日
オンライン学習会	火	11月22日	12月13日	1月10日	1月31日	2月21日	3月14日

●お申し込み期限

2022年10月2日（日）* 10/7前後に抽選の結果をお知らせします。

●お申込は下記サイトをご利用ください。

<https://forms.gle/AsJ67pS6aMUhEr1N7>

QRコードからもお申し込みできます。👉



QRコードからお申し込みいただけます

*日時をご確認のうえお申し込みください。

*応募者多数の場合は、抽選になります。

*定員に満たなかった場合、中止することがあります。

*ご入金いただいた後の返金はできません。

📖 参考 各コースについて

A：手話通訳者全国統一試験合格をめざしている者（2クラス）

B：手話通訳者全国統一試験、または各自治体の登録試験に合格した者（5クラス）

C：手話通訳士（3クラス）

D：ろう通訳者等（2クラス）

全部で12クラス用意しております



特定非営利活動法人手話教師センター事務局

事務局： info@jsltc.org

URL: <http://www.jsltc.org/>

fax: 03-4579-0518

Supported by
THE NIPPON
FOUNDATION

オンライン&対面

通訳理論講座

ろう通訳者養成講座・フィーダー養成講座のご案内（8期生）

（コミュニティ&学術分野におけるろう通訳者・フィーダー養成事業）

本年度も「通訳理論講座」「ろう通訳者養成講座（8期生）」「フィーダー養成講座（8期生）」を開講します。ろう通訳者やフィーダーに対する理解も少しずつ広がってきています。ろう通訳者も、もちろん通訳者のひとりとして通訳倫理を遵守しなければなりません。ろう通訳者と聴手話通訳者が協働して、よりよい通訳を提供するために、まず受講してみませんか。修了後は、通訳OJT（職業訓練）プログラムに参加できます。遠隔地の方は、旅費の助成金があります。

「CO通訳養成講座」=ろう通訳者養成講座・フィーダー養成講座を略したものです

【通訳理論講座】15コマ 定員12名（Aクラス6名、Bクラス6名の予定）オンラインのみ

（対象）ろう者、通訳者、通訳コーディネーター、通訳全般に関心のある方

*音声日本語への通訳はありません

【ろう通訳者養成講座】35コマ 定員6名 オンライン/対面

（対象）日本手話を第一言語とするろう者で、書記日本語の読み書きができる方

【フィーダー養成講座】33コマ 定員6名 オンライン/対面

（対象）手話通訳士等、手話通訳に関して何らかの資格を有している方

【日程・会場・受講料等】

会場 オンライン（ZOOM）/対面（東京都心の貸会議室等）

通訳理論講座

Aクラス 2022年6月21日～10月15日（火曜日 夜間。最終日のみ土曜日）

Bクラス 2022年6月25日～10月1日（土曜日 午前・午後）

CO通訳養成講座 2022年6月21日～12月18日（通訳理論講座A/B、通訳演習・実習X/Z）

*スケジュール等、詳細は裏面をご参照ください

受講料（当初の受講料より10%引になっております）

通訳理論講座 一般13,500円 会員・サポーター11,700円

ろう通訳者養成講座 一般31,500円 会員・サポーター27,000円*

フィーダー養成講座 一般27,000円 会員・サポーター22,500円*

*過去に「通訳理論講座」を受講し、修了証を有している方は、通訳理論講座の受講を免除します。

受講料が9,000円減額されます。再受講する場合、受講料の減免はありません。

【受講までの流れ】

通訳理論講座（抽選）応募締切5/29（日） 抽選結果を6/5（日）前後にメールで通知

CO通訳養成講座（選考あり）

応募締切5/8（日）*5/12までに選考方法について応募者全員にメールで通知

選考課題提出期限5/29（日）、6/5（日）前後に選考結果をメールで通知

*オンラインによる選考含む。選考日時は申し込みフォームにてご確認ください。

【対面・旅費助成について】関東1都6県（茨城・栃木・群馬・埼玉・東京・千葉・神奈川）以外の地域にお住まいの方に旅費の一部を助成します。講座が1日の場合は上限15,000円/1回、2日連続の場合は、宿泊費用を含め、上限22,000円/1回です。ただし、全回出席していることが助成条件となります。一度でも欠席、遅刻・早退のある方は助成を受けられません。希望者多数の場合は抽選になります。詳細は下記事務局までお問い合わせください。



お申し込みはQRコードから

特定非営利活動法人手話教師センター事務局

事務局： info@jsltc.org

URL: <http://www.jsltc.org/>

fax: 03-4579-0518

通訳理論講座・ろう通訳者養成講座（8期）・フィーター養成講座（8期）

2022年度 日程表

日時	曜	時間	講座形式	講座名	内容
6/21	火	20:00-21:30	オンライン	A通訳理論1	通訳倫理規定の内容と基本的理念
7/5	火	20:00-21:30	オンライン	A通訳理論2	通訳論（1）
7/19	火	20:00-21:30	オンライン	A通訳理論3	通訳論（2）
6/25	土	10:40-12:10	オンライン	B通訳理論1	通訳倫理規定の内容と基本的理念
		13:10-14:40	オンライン	B通訳理論2	通訳論（1）
		15:00-16:30	オンライン	B通訳理論3	通訳論（2）
7/26	火	20:00-21:30	オンライン	A通訳理論4	手話通訳者のあり方（1）
8/2	火	20:00-21:30	オンライン	A通訳理論5	手話通訳者のあり方（2）
8/9	火	20:00-21:30	オンライン	A通訳理論6	コミュニケーション論
7/30	土	10:40-12:10	オンライン	B通訳理論4	手話通訳者のあり方（1）
		13:10-14:40	オンライン	B通訳理論5	手話通訳者のあり方（2）
		15:00-16:30	オンライン	B通訳理論6	コミュニケーション論
8/23	火	20:00-21:30	オンライン	A通訳理論7	社会言語学視点の手話通訳分野
8/30	火	20:00-21:30	オンライン	A通訳理論8	通訳現場における「場の調整力」（1）
9/13	火	20:00-21:30	オンライン	A通訳理論9	通訳現場における「場の調整力」（2）
8/27	土	10:40-12:10	オンライン	B通訳理論7	社会言語学視点の手話通訳分野
		13:10-14:40	オンライン	B通訳理論8	通訳現場における「場の調整力」（1）
		15:00-16:30	オンライン	B通訳理論9	通訳現場における「場の調整力」（2）
9/20	火	20:00-21:30	オンライン	A通訳理論10	ろう通訳者の役割
10/4	火	20:00-21:30	オンライン	A通訳理論11	聴通訳とろう通訳の協働することの意義
9/17	土	13:10-14:40	オンライン	B通訳理論10	ろう通訳者の役割
		15:00-16:30	オンライン	B通訳理論11	聴通訳とろう通訳の協働することの意義
10/15	土	09:00-10:30	オンライン	A通訳理論12	事例検討（1）
		10:40-12:10	オンライン	A通訳理論13	事例検討（2）
		13:10-14:40	オンライン	A通訳理論14	事例検討（3）
		15:00-16:30	オンライン	A通訳理論15	事例検討（4）まとめ
10/1	土	09:00-10:30	オンライン	B通訳理論12	事例検討（1）
		10:40-12:10	オンライン	B通訳理論13	事例検討（2）
		13:10-14:40	オンライン	B通訳理論14	事例検討（3）
		15:00-16:30	オンライン	B通訳理論15	事例検討（4）まとめ
10/29	土	09:00-10:30	オンライン	ろう/フィ	「翻訳」とは何か
		10:40-12:10	オンライン	ろう/フィ	翻訳理論（1）日本手話→日本語
		13:10-14:40	オンライン	ろう/フィ	翻訳理論（2）日本語→日本手話
		15:00-16:30	オンライン	ろう/フィ	講義「コミュニティ通訳」
11/5	土	09:00-10:30	オンライン	ろう通訳	通訳基礎トレーニング（1）
		10:40-12:10	オンライン	ろう通訳	通訳基礎トレーニング（2）
		13:10-14:40	オンライン	ろう/フィ	講義「ろう通訳を経験して」「フィーターを経験して」
		15:00-16:30	オンライン	ろう/フィ	ディスカッション「CO通訳を考える」
11/19	土	10:40-12:10	オンライン	ろう/フィ	通訳演習(1) Xチーム
		13:10-14:40	オンライン	ろう/フィ	通訳演習(2) Xチーム
		15:00-16:30	オンライン	ろう/フィ	通訳演習(3) Xチーム
11/20	日	10:40-12:10	対面	ろう/フィ	通訳演習(4) Xチーム
		13:10-14:40	対面	ろう/フィ	通訳演習(5) Xチーム
		15:00-16:30	対面	ろう/フィ	通訳演習(6) Xチーム
11/26	土	10:40-12:10	オンライン	ろう/フィ	通訳演習(1) Zチーム
		13:10-14:40	オンライン	ろう/フィ	通訳演習(2) Zチーム
		15:00-16:30	オンライン	ろう/フィ	通訳演習(3) Zチーム
11/27	日	10:40-12:10	対面	ろう/フィ	通訳演習(4) Zチーム
		13:10-14:40	対面	ろう/フィ	通訳演習(5) Zチーム
		15:00-16:30	対面	ろう/フィ	通訳演習(6) Zチーム
12/11	日	am	対面	ろう/フィ	(自主準備) Xチーム
		13:10-14:40	対面	ろう/フィ	通訳実習(1) 講演会 通訳 Xチーム オンラインZチーム
		15:00-16:30	対面	ろう/フィ	通訳実習(2) 講演会 通訳 Xチーム オンラインZチーム
		16:40-18:10	対面	ろう/フィ	通訳実習(3) フィードバック・まとめ XZチーム合同
12/18	日	am	対面	ろう/フィ	(自主準備) Zチーム
		13:10-14:40	対面	ろう/フィ	通訳実習(1) 講演会 通訳 Zチーム オンラインXチーム
		15:00-16:30	対面	ろう/フィ	通訳実習(2) 講演会 通訳 Zチーム オンラインXチーム
		16:40-18:10	対面	ろう/フィ	通訳実習(3) フィードバック・まとめ XZチーム合同

演習と実習(特別講演会)は2グループに別れ、対面で行ないます。ろう通訳者養成講座、フィーター養成講座からそれぞれ3名ずつ、通訳チーム(1チーム6人)を結成します。そのため、Xチーム・Zチームのどちらにも参加できるように、予定をあげてください。どうしても都合がつかない日がありましたら、申込フォームにてお知らせください。
(注:演習・実習を履修していない場合、修了後の通訳OJT(職業訓練)プログラムに参加できません。)

手話放送とは

今回はNHK(日本放送協会)で働いている丹野康平氏を講師としてお招きし、手話放送に関わるさまざまなこととお話しいただく予定です。手話放送の番組が増えてきた今、改めて手話で放送するということがどういうことなのか一緒に考えましょう。

※本講演会は今年度のろう通訳・リーダー養成講座の受講生が通訳を行います



日 時：2022年12月11日(日)14:00-15:30(受付時間13:50~)

場 所：オンライン (Zoomウェビナーで配信)

講 師：丹野康平氏

参加費：無料

申込方法：下記リンクからお申し込みください。(上のQRコードからもお申し込みいただけます)

<https://forms.gle/VNTKB8fuWX4hZtXt6>

申込締切：2022年12月4日(日)

講師プロフィール

2004年 NHK入局

2009年 制作局 第1制作センター文化・福祉番組部
H I VやL G B Tを中心に、女性の貧困や地域医療など
福祉番組ディレクターとして番組制作

2013年 盛岡放送局 東日本大震災関連を中心に番組制作

2018年 制作局 第1制作センター文化・福祉番組部
(現・第1制作センター)

ハートネットTVのデスクとして、
手話放送の立ち上げなどに関わる

2022年 鹿児島放送局 コンテンツセンター



◆講師は音声日本語で話します。手話通訳がつきます。

◇ZoomのURLは前日までに送信いたします。

◆接続方法のご案内は行っておりません。

◇利用環境に必要な機器類や通信にかかる費用は、自己負担となります。

◆回線やサーバーの混雑等によるトラブル(接続できない、映像が見られない等)の責任は負いかねます。

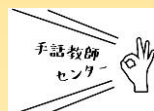
◇本講演会の録画・録音・撮影や、URLの無断転載は固くお断りいたします。万が一これらの行為が発覚した場合には、著作権および肖像権侵害で対処させていただくことがございます。

<ご参加にあたってのお願い>

・当日は有線LAN、無線LANなどの安定したインターネット環境下でご視聴ください。

・パソコンからのご視聴を推奨いたします。

(スマートフォン、タブレットからのご視聴は画面の切り替えなどの際、正常に映らないことがあります。その場合の責任は負いかねます。)



○問い合わせ先○
特定非営利活動法人手話教師センター

e-mail: honyaku@jsltc.org

Fax: 03-4579-0518

ジェンダーとアイデンティティ

今回は「ジェンダー研究」という分野の専門家であるフィリップ・ヒューズ氏をお招きし、「ジェンダー」という用語を一から説明いただきます。さらに、「アイデンティティとは何か」という問題にも切り込みます。ジェンダーという観点からアイデンティティを紐解くことで、改めて自分という存在を見つめ直してみませんか。

※本講演会は今年度のろう通訳・リーダー養成講座の受講生が通訳を行います



日 時：2022年12月18日(日)14:00-15:30(受付時間13:50~)

場 所：オンライン (Zoomウェビナーで配信)

講 師：フィリップ・ヒューズ氏

参加費：無料

申込方法：下記リンクからお申し込みください。(上のQRコードからもお申し込みいただけます)

<https://forms.gle/A8mtGkoeveixeLz1A>

申込締切：2022年12月11日(日)

講師プロフィール

兵庫県立大学国際交流機構講師

神戸大学国際文化研究科博士課程後期課程修了。

専門はジェンダー/セクシュアリティ、移住、現象学。

主著に「なぜ自分のセクシュアリティを口に出すのか?経験

からのセクシュアリティ再考」2020年(フェミニスト現象学

入門:経験から「普通」を問い直す、共著者:中澤瞳・宮原優

・稲原美苗・川崎史編)。



◆講師は音声日本語で話します。手話通訳がつきます。

◇ZoomのURLは前日までに送信いたします。

◆接続方法のご案内は行っておりません。

◇利用環境に必要な機器類や通信にかかる費用は、自己負担となります。

◆回線やサーバーの混雑等によるトラブル(接続できない、映像が見られない等)の責任は負いかねます。

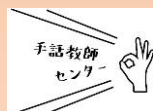
◇本講演会の録画・録音・撮影や、URLの無断転載は固くお断りいたします。万が一これらの行為が発覚した場合には、著作権および肖像権侵害で対処させていただくことがございます。

<ご参加にあたってのお願い>

・当日は有線LAN、無線LANなどの安定したインターネット環境下でご視聴ください。

・パソコンからのご視聴を推奨いたします。

(スマートフォン、タブレットからのご視聴は画面の切り替えなどの際、正常に映らないことがあります。その場合の責任は負いかねます。)



○問い合わせ先○
特定非営利活動法人手話教師センター

e-mail: honyaku@jsltc.org

Fax: 03-4579-0518

防災への心構え

ここ数年、自然災害が増えています。自分や家族の身を守るためにはどのような行動を取るべきでしょうか。

今回の講演会では防災士研修センターから講師をお招きし、身を守るための方法はもちろん、防災士という仕事についてもお話しいただく予定です。

日 時：2022年10月30日(日)10:00-11:30(受付時間9:50~)

場 所：オンライン (Zoomウェビナーで配信)

講 師：玉田太郎氏

参加費：法人会員・サポーター 1,000円
一般 1,500円

支払方法：PayPal (ペイパル) による決済のみ

申込方法：下記リンクからお申し込みください。(上のQRコードからもお申し込みいただけます)

<https://forms.gle/vZXjrZDaViNkex4F6>

申込締切：2022年10月16日(日)



講師プロフィール

防災士研修センター代表取締役。

IPU卒業。大手人材・IT系企業での勤務を経て防災情報新聞業務部長等を歴任。

東日本大震災による東北沿岸部の被害調査の他、熊本地震、西日本豪雨災害など全国各地の災害現場での視察を基に防災士研修講座の企画・運営指導等に当たる。

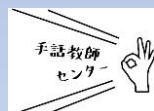
現在、令和防災研究所エグゼクティブフェローとして、「家庭で取り組む防災“ホーム・サバイバル・トライアル”」を掲げ、より実践的な防災の普及・啓発に努めている。



- ◆講師は音声日本語で話します。手話通訳がつきます。
- ◇ZoomのURLは前日までに送信いたします。
- ◆接続方法のご案内は行っておりません。
- ◇利用環境に必要な機器類や通信にかかる費用は、自己負担となります。
- ◆回線やサーバーの混雑等によるトラブル(接続できない、映像が見られない等)の責任は負いかねます。
- ◇本講演会の録画・録音・撮影や、URLの無断転載は固くお断りいたします。万が一これらの行為が発覚した場合には、著作権および肖像権侵害で対処させていただくことがございます。
- ◆申込締切後のキャンセル及び返金はできかねます。

<ご参加にあたってのお願い>

- ・当日は有線LAN、無線LANなどの安定したインターネット環境下でご視聴ください。
- ・パソコンからのご視聴を推奨いたします。
- (スマートフォン、タブレットからのご視聴は画面の切り替えなどの際、正常に映らないことがあります。その場合の責任は負いかねます。)



○問い合わせ先○
特定非営利活動法人手話教師センター

e-mail: honyaku@jsltc.org

Fax: 03-4579-0518

医療のあれこれ

私たちの生活とは切っても切れない医療。医療について知りたいことをぜひ現役の医師に教えてもらいましょう。

本研修会では昨年度に引き続き、医師の田崎ゆき氏をお迎えし、医療について一緒に学びます。皆様のご参加をお待ちしております。

※今年度は基本的な講座に加え、参加者から事前に出た質問に対して講師から回答いただく予定です。なお、講師は日本語で講義をなさるので、事務局で通訳チームをアレンジし、複数名で日本手話に通訳いたします。通訳OJTの対象となります。

日時：2022年10月～2023年2月 19:30～21:00(計5回)(5分前から入室可能)

10月17日(月)	23年1月16日(月)
11月28日(月)	23年2月13日(月)
12月26日(月)	

参加対象：ろう通訳者・フィーダー養成講座修了生

参加費：法人会員・サポーター 5,000円、一般 7,500円

参加方法：オンライン(Zoom) ビデオオン必須

定員：10名前後(申し込み多数の場合、抽選となります)

申込締切日：2022年9月16日(金)

申込先：<https://forms.gle/dqWya42FHcC8Gx2j9>

講師：田崎ゆき氏

講師プロフィール

医学部卒業後、昭和53年に小児科医局入局。

大学病院での研修後、日本通運東京病院小児科勤務。

その後、同病院保健部で大人の健診や人間ドックに関わる。

平成6年、江戸川区で小児科・内科の医院を開業、現在に至る。

趣味は読書。好きなモノは猫と美味しいモノ。



〈お願い〉

受講に必要な機器類や通信にかかる費用は自己負担となります。回線やサーバの混雑等によるトラブル(接続できない、映像が見られない等)の責任は負いかねます。

※申込締切後のキャンセル及び返金はできかねますので、ご了承ください。

精神保健福祉分野について学ぼう

精神保健って聞いたことあるけど、具体的にどういうこと？このような疑問を持っている方もいると思います。

本研修会では甲斐更紗氏をお迎えし、精神保健の基本を学び、そのうえで様々な事例について一緒に考えていきます。皆様のご参加をお待ちしております。

皆様のご参加をお待ちしております。

日時：2022年10月～2023年1月 20:00～21:30(計5回)(5分前から入室可能)

10月20日(木)	12月15日(木)
11月3日(祝)	23年1月26日(木)
11月17日(木)	

参加対象：ろう通訳者・フィーダー養成講座修了生

参加費：法人会員・サポーター 5,000円、一般 7,500円

参加方法：オンライン(Zoom) ビデオオン必須

定員：10名前後(申し込み多数の場合、抽選となります)

申込締切日：2022年10月5日(水)

申込先：<https://forms.gle/YXF8XkRFGfDyj6Y78>

講師：甲斐(富田)更紗氏

講師プロフィール

ろう者。中学部まで聾学校育ち。臨床心理士・公認心理師・精神保健福祉士、博士(学校教育学)。

専門は臨床心理学、特別支援教育、聴覚障害教育、障害学生支援。現職は国立がん研究センターがん対策研究所特任研究員。



〈お願い〉

受講に必要な機器類や通信にかかる費用は自己負担となります。回線やサーバの混雑等によるトラブル(接続できない、映像が見られない等)の責任は負いかねます。

※申込締切後のキャンセル及び返金はできかねますので、ご了承ください。

手話通訳士倫理綱領を基本から学ぼう

手話通訳として活動していくためには技術だけではなく通訳倫理も学ばなければいけません。本講座では日本手話通訳士協会理事である鈴木氏と高井氏をお迎えし、1997年(H9)に制定された手話通訳士倫理綱領を基本から学びます。なお、最終回は参加者のみで講座の振り返りと倫理について改めて議論する予定です。

皆様のご参加をお待ちしております。

日時：2022年10月～11月 20:00～21:30(計5回) (5分前から入室可能)

10月14日(金)	11月4日(金)	11月18日(金)
10月21日(金)	11月11日(金)	

参加費：法人会員・サポーター 5,000円、一般 7,500円

参加方法：オンライン(Zoom) ビデオオン必須

定員：10名前後(申し込み多数の場合、抽選となります)

申込締切日：2022年10月2日(日)

申込先：<https://forms.gle/iks7sDLjJMiboJFp9>

講師：日本手話通訳士協会理事



◆鈴木 唯美(すすき ゆみ)

京都府在住。手話との出会いは中学生の時。1987年に京都聴覚言語障害者福祉協会に就職。2021年より日本手話通訳士協会会長。



◆高井洋(たかい ひろし)

東京都在住。ろう者である両親、祖母のもと手話を自然に習得する。2002年に東京手話通訳等派遣センターに就職。2019年より日本手話通訳士協会副会長。

〈お願い〉

受講に必要な機器類や通信にかかる費用は自己負担となります。回線やサーバの混雑等によるトラブル(接続できない、映像が見られない等)の責任は負いかねます。

※申込締切後のキャンセル及び返金はできかねますので、ご了承ください。

ろう通訳者のための翻訳研修会

日本手話から書記日本語への翻訳ってどのようにすればいいの？そもそも翻訳って？

昨年度に引き続き、今年度も宮澤典子をお迎えし、日本手話から書記日本語への翻訳についての研修会を開催します。

皆様のご参加をお待ちしております。

日時：2022年10月～12月 20:00～21:30(計5回)(5分前から入室可能)

10月31日(月)	12月12日(月)
11月14日(月)	12月19日(月)
12月5日(月)	

参加対象：ろう通訳者養成講座修了生

参加費：法人会員・サポーター 5,000円、一般 7,500円

参加方法：オンライン(Zoom) ビデオオン必須

内容：翻訳課題5本、オンライン研修会5回

定員：6名(申し込み多数の場合、抽選となります)

申込締切日：2022年9月25日(土)

申込先：<https://forms.gle/KULh7PEmhJhVD8yu6>

講師：宮澤典子氏

講師プロフィール

宮城県生まれ。ろうの両親のもとに生まれた聴者（コーダ）。大学進学後、手話を学ぶ。両親のろうあ協会の活動を手伝ううちに手話通訳活動へ。国立障害者リハビリテーションセンター学院手話通訳学科元教官。一般社団法人全国手話通訳問題研究会理事、宮城県手話通訳問題研究会会長、一般社団法人宮城県聴覚障害者福祉会事務局長、手話通訳士



<お願い>

受講に必要な機器類や通信にかかる費用は自己負担となります。回線やサーバの混雑等によるトラブル(接続できない、映像が見られない等)の責任は負いかねます。返金は原則、不可となります。

学術通訳の心構え

コミュニティ通訳とは異なる学術会議通訳。今後、日本でも学術会議でCO通訳者が通訳する機会が増えるかもしれません。その前に心構えについて勉強してみませんか。

本講座ではろう通訳者として世界で活躍されているクリストファー氏をお迎えし、国際手話で学術通訳の心構えを学びます。（イマージョン方式となります）

皆様のご参加をお待ちしております。

日時：2022年7月 20:30～22:00(計2回)(5分前から入室可能)

※時差の関係で20:30開始となっております。

7月11日(月)

7月19日(火)

参加費：法人会員・サポーター 2,000円、一般 3,000円

参加方法：オンライン(Zoom) ビデオオン必須

定員：10名前後(申し込み多数の場合、抽選となります)

申込締切日：2022年6月30日(木)

申込先：<https://forms.gle/61W86kbRtSieM39N9>

講師：クリストファー・テスター（Christopher Tester）氏

講師プロフィール

ろう通訳者、司法通訳士・理学系修士

世界ろう連盟(WFD)・世界手話通訳者協会(WASLI)認定国際手話通訳者

国際会議通訳者協会(AIIC)会員（英語-ASL通訳者）

俳優、コンサルタント、教育者としても活躍。障害者の権利と司法、ろう者や難聴者への啓発や通訳などに関するワークショップやセミナーなどの講師も数多く務める。

国連やブロードウェイの舞台通訳、国内のみならず国際会議などでの通訳や司法に関する通訳を専門としている。



〈お願い〉

受講に必要な機器類や通信にかかる費用は自己負担となります。回線やサーバの混雑等によるトラブル(接続できない、映像が見られない等)の責任は負いかねます。返金は原則、不可となります。

国際手話を学ぼう

昨年に引き続き、今年度も国際手話を学べる講座を開講します。今年度は手話やろうに関する語を中心に学ぶ予定です。

皆様のご参加をお待ちしております。

日 時：2022年6月～7月 20:00～21:30(計5回) (5分前から入室可能)

※曜日が不定期となっておりますのでお間違いのないようにしてください。

6月9日(木)
6月14日(火)
6月25日(土)
7月15日(金)
7月18日(祝)

参加費：法人会員・サポーター 5,000円、一般 7,500円

参加方法：オンライン(Zoom) ビデオオン必須

定 員：10名前後(申し込み多数の場合、抽選となります)

申込締切日：2022年5月29日(日)

申込先：<https://forms.gle/yUp5ZSrazEkJWpoP9>

講師：Robert Adam(ロバート・アダム)氏

講師プロフィール

オーストラリア・メルボルン出身、現在スコットランド在住。

ヘリオット・ワット大学 言語と異文化コミュニケーション助教授、ロンドン大学ユニヴァーシティ・カレッジ・ロンドン 名誉講師、ダブリン大学 トリニティ・カレッジ客員研究員。

オーストラリアやアメリカ、イギリスで活躍する専門通訳・翻訳者。研究領域：ろう通訳者のバイリンガリズム、言語接触、およびマイノリティ手話コミュニティ。世界ろう連盟の手話・ろう者学のろうエキスパートグループのコーディネーター担当。



〈お願い〉

受講に必要な機器類や通信にかかる費用は自己負担となります。回線やサーバの混雑等によるトラブル(接続できない、映像が見られない等)の責任は負いかねます。返金は原則、不可となります。

ゼロから学ぶ英語の読解

英語の文法がよくわからない、英語の長文をどう読んでいいのかわからない…。そんな悩みを抱えている人はたくさんいると思います。

本研修会では聾学校で英語を教えている蓮池通子氏をお迎えし、英語の読解の基本を学ぶ予定です。皆様のご参加をお待ちしております。

日 時：2022年7月～8月 20:00～21:30(計5回) (5分前から入室可能)

7月27日(水)
8月3日(水)
8月10日(水)
8月17日(水)
8月24日(水)

参加対象：ろう通訳者・フィーダー養成講座修了生

参加費：法人会員・サポーター 5,000円、一般 7,500円

参加方法：オンライン(Zoom) ビデオオン必須

定 員：10名前後(申し込み多数の場合、抽選となります)

申込締切日：2022年7月17日(日)

申込先：<https://forms.gle/LSrrdVWH3j4q42f26>

講師：蓮池通子氏

講師プロフィール

手話通訳士

平成9年に茨城県の登録手話通訳者として通訳活動を開始。平成16年手話通訳士登録。

手話通訳コーディネーター、大学での特任助教、団体内での通訳活動などを経てフリーの手話通訳者としても活動中。3年前よりろう学校で英語科の非常勤時間講師として勤務中。

〈お願い〉

受講に必要な機器類や通信にかかる費用は自己負担となります。回線やサーバの混雑等によるトラブル(接続できない、映像が見られない等)の責任は負いかねます。返金は原則、不可となります。



手話言語学を学ぼう

手話言語学とその周辺分野について学べる場がなかなかありません。

本研修会では森壮也氏をお迎えし、手話言語学について一緒に学びます。皆様のご参加をお待ちしております。

日 時：2022年6月～8月 20:00～21:30 (計10回) (5分前から入室可能)

6月2日(木)	7月21日(木)
6月16日(木)	7月28日(木)
6月23日(木)	8月4日(木)
6月30日(木)	8月11日(祝)
7月14日(木)	8月25日(木)

参加対象：ろう通訳者・リーダー養成講座修了生

参加費：法人会員・サポーター 10,000円、一般 15,000円

参加方法：オンライン(Zoom) ビデオオン必須

定 員：10名前後(申し込み多数の場合、抽選となります)

申込締切日：2022年5月25日(水)

申込先：<https://forms.gle/Rsxdth2WTAMUER8E6>

講師：森壮也氏

講師プロフィール

早稲田大学政治経済学部および同大学院経済学研究科修了。JETROアジア経済研究所主任調査研究員。日本手話学会会長、障害学会理事、Sign Language Studies編集委員、WFD開発途上国専門家コーディネーター。JICA-JFD途上国ろう者リーダー研修事業や国連アジア太平洋障害者の10年最終年ハイレベル政府間会合、アモン・デフリンピック委員長来日講演等でISやASLと日本手話間での通訳等も。



〈お願い〉

受講に必要な機器類や通信にかかる費用は自己負担となります。回線やサーバの混雑等によるトラブル(接続できない、映像が見られない等)の責任は負いかねます。返金は原則、不可となります。

TISLR14 ミニ講座 (日付順)

*	発表テーマ	発表者氏名	日時	使用言語	ろう	聴
1	S-09 日本手話、台湾手話、韓国手話における通時の変化-親族表現に着目して-	Keiko Sagara	5/29	日本手話	7	6
2	S-08 Creating original sign language children's stories using linguistic features	Rachel Sutton-Spence	6/18	IS	4	1
3	S-05 Exophoric demonstratives in ASL	Paul Twitchell	6/19	ASL	2	2
4	S-28 Characteristics of subject relativization with SELF in German Sign Language: a corpus-based study	Okan Kubus	7/2	IS	3	3
5	S-16 Establishing locations in topographic space in the tactile signed modality	Johanna Mesch	7/3	IS	4	2
6	S-24 Where are the deaf BIPOC Global South researchers? Examining parity and inclusion in the field of sign language linguistics	Lynn Hou (Lina Hou)	7/10	IS	2	1
7	L-02 How interacting minds make language: The creative forces behind homesign, sign languages, and all human communication	Marie Coppola	7/17	ASL	4	4
8	S-18 Cross-linguistic distributional properties of phonological handshape	Rachel Miles	7/30	IS	4	2
9	S-20 Open-Source Pipeline for Skeletal Modeling of Sign Language Utterances from 2D Video Sources	Aline Normoyle	7/30	英語	5	2
10	S-02 Lexical conventionalization requires a community of primary users, communicative interactions are not enough	Madeline Quam	7/31	ASL	4	3
11	S-30 Not just any sign: Searching for negative polarity items in DGS	Cornelia Loos	8/1	英語	3	2
12	S-19 L2 Signer Accent: Phonological Development in ASL Learners	Kaj Kraus	8/5	ASL	3	3
13	S-29 Comparative constructions in sign language: A comparative study between LIS and CSL	Mirko Santoro	8/6	IS	4	2
14	S-31 Interruptions or Open Participation? Turn Overlaps in ASL Classrooms	Laura Horton	8/7	ASL	4	1
15	S-12 "Not good enough", or just "not enough"? Quality and quantity of signed input in DHH children from hearing families	Matt Hall	8/8	ASL	4	2
16	S-04 Number of competing referents matters for choice of pronoun in ASL	Anne Therese Frederiksen	8/11	英語/ASL	3	0
17	S-26 Native Signing vs. Sign-Naïve Children's Perceptual Gaze Patterns for Linguistic and Non-Linguistic Body Actions	Rain Bosworth	8/13	ASL	4	0
18	S-07 Not all points are the same from a child's eyes	Jenny Lu	8/14	IS	4	0
19	L-01 Corpus potential: Using variables to reveal the secrets of a sign language	Nick Palfreyman	8/15	IS	4	2
20	S-11 The social structure of signing communities and lexical variation: A cross-linguistic comparison of three unrelated sign languages	Hannah Lutzenberger (Katie Mudd)	8/16	IS	4	1
21	S-03 Full reduplication as a derivative process in Catalan Sign Language (LSC): Frequency rate, path and circular movements	Aida Villaécija	8/18	英語	4	3
22	S-32 The pragmatic skills of homesigners: Other-initiated repair in Balinese homesign	Connile de Vos	8/19	IS	4	2
23	S-23 lughat umm/'arabi mukasser: competing discourses about Jordanian Sign Language (LIU) in Amman	Timothy Y. Loh	8/21	ASL	3	2
24	S-01 Why rain and water don't go together, but friends and elasticity do: An exploratory study of colexification in two sign languages	Nia Lazarus	8/23	ASL	4	0
25	S-27 The relationship between joint gaze, object manipulation, and sustained attention in deaf children acquiring ASL	Allison Fitch	8/28	ASL	4	0

TISLR14 ミニ講座 (発表順)

	*	発表テーマ	発表者氏名	日時	使用言語	ろう	聴
1	L-01	Corpus potential: Using variables to reveal the secrets of a sign language	Nick Palfreyman	8/15	IS	4	2
2	L-02	How interacting minds make language: The creative forces behind homesign, sign languages, and all human communication	Marie Coppola	7/17	ASL	4	4
3	S-01	Why rain and water don't go together, but friends and elasticity do: An exploratory study of colexification in two sign languages	Nia Lazarus	8/23	ASL	4	0
4	S-02	Lexical conventionalization requires a community of primary users, communicative interactions are not enough	Madeline Quam	7/31	ASL	4	3
5	S-03	Full reduplication as a derivative process in Catalan Sign Language (LSC): Frequency rate, path and circular movements	Aida Villaécija	8/18	英語	4	3
6	S-04	Number of competing referents matters for choice of pronoun in ASL	Anne Therese Frederiksen	8/11	英語/ASL	3	0
7	S-05	Exophoric demonstratives in ASL	Paul Twitchell	6/19	ASL	2	2
8	S-07	Not all points are the same from a child's eyes	Jenny Lu	8/14	IS	4	0
9	S-08	Creating original sign language children's stories using linguistic features	Rachel Sutton-Spence	6/18	IS	4	1
10	S-09	日本手話、台湾手話、韓国手話における通時的変化-親族表現に着目して-	Keiko Sagara	5/29	日本手話	7	6
11	S-11	The social structure of signing communities and lexical variation: A cross-linguistic comparison of three unrelated sign languages	Hannah Lutzenberger (Katie Mudd)	8/16	IS	4	1
12	S-12	"Not good enough", or just "not enough"? Quality and quantity of signed input in DHH children from hearing families	Matt Hall	8/8	ASL	4	2
13	S-16	Establishing locations in topographic space in the tactile signed modality	Johanna Mesch	7/3	IS	4	2
14	S-18	Cross-linguistic distributional properties of phonological handshape	Rachel Miles	7/30	IS	4	2
15	S-19	L2 Signer Accent: Phonological Development in ASL Learners	Kaj Kraus	8/5	ASL	3	3
16	S-20	Open-Source Pipeline for Skeletal Modeling of Sign Language Utterances from 2D Video Sources	Aline Normoyle	7/30	英語	5	2
17	S-23	lughat umm/'arabi mukasser: competing discourses about Jordanian Sign Language (LIU) in Amman	Timothy Y. Loh	8/21	ASL	3	2
18	S-24	Where are the deaf BIPOC Global South researchers? Examining parity and inclusion in the field of sign language linguistics	Lynn Hou (Lina Hou)	7/10	IS	2	1
19	S-26	Native Signing vs. Sign-Naïve Children's Perceptual Gaze Patterns for Linguistic and Non-Linguistic Body Actions	Rain Bosworth	8/13	ASL	4	0
20	S-27	The relationship between joint gaze, object manipulation, and sustained attention in deaf children acquiring ASL	Allison Fitch	8/28	ASL	4	0
21	S-28	Characteristics of subject relativization with SELF in German Sign Language: a corpus-based study	Okan Kubus	7/2	IS	3	3
22	S-29	Comparative constructions in sign language: A comparative study between LIS and CSL	Mirko Santoro	8/6	IS	4	2
23	S-30	Not just any sign: Searching for negative polarity items in DGS	Cornelia Loos	8/1	英語	3	2
24	S-31	Interruptions or Open Participation? Turn Overlaps in ASL Classrooms	Laura Horton	8/7	ASL	4	1
25	S-32	The pragmatic skills of homesigners: Other-initiated repair in Balinese homesign	Connile de Vos	8/19	IS	4	2

TISLR 14 関連ミニ講座(Nick Palfreyman 氏)

コーパスの可能性:

言語の変種（変項）を用いて手話の秘密をあばく（仮訳）

Corpus potential: Using variables to reveal the secrets of a sign language

2022年9月にTISLR14（第14回国際手話言語学会）が国立民族博物館で行われます。

それに先立ちまして、手話教師センターでは、講演者ご自身にアブストラクトの内容について解説していただくミニ講座を開催いたします。

ご興味のある方はぜひご参加ください。

日 時：2022年8月15日(月)20:00~21:30

講 師：Nick Palfreyman 氏(University of Central Lancashire, UK)

使用言語：国際手話

参加対象：ろう通訳者・リーダー養成講座修了生

参加費：手話教師センター法人会員・サポーター 1,000円、一般 1,500円

参加方法：オンライン(Zoom) ビデオオン必須

申込締切日：2022年8月3日(日)

申込フォーム：<https://forms.gle/Wzihbzxa43bBR56D6>



*最初の1時間は講義。

発表者退室後、残りのメンバーで30分ほど勉強会。

〈お願い〉

受講に必要な機器類や通信にかかる費用は自己負担となります。回線やサーバの混雑等によるトラブル(接続できない、映像が見られない等)の責任は負いかねます。返金は原則、不可となります。

TISLR 14 関連ミニ講座 (Marie Coppola 氏)

対話での思考（マインド）はどのように言葉をつくるか。：

ホームサイン、手話、そしてすべての人間コミュニケーションを支える創造力 (仮訳)

How interacting minds make language:

The creative forces behind homesign, sign languages, and all human communication

2022年9月にTISLR14(第14回国際手話言語学会)が国立民族博物館で行われます。

それに先立ちまして、手話教師センターでは、講演者ご自身にアブストラクトの内容について解説していただくミニ講座を開催いたします。

ご興味のある方はぜひご参加ください。

日 時：2022年7月17日(日)20:30~22:00

講 師：Marie Coppola 氏(コネチカット大学)

使用言語：アメリカ手話

参加対象：ろう通訳者・フィーダー養成講座修了生

参加費：法人会員・サポーター 1,000円、一般 1,500円

プロフィール：認知科学者。CODAとしての経験を基に、ホームサイン、言語の発生、言語習得、認知的発達について研究している。1994年よりニカラグアにてろう者とともに活動。NPO「サインズ・アンド・スマイルズ (Signs and Smiles)」を創設・主宰し、ニカラグアおよび世界のろうコミュニティと連携している。

参加方法：オンライン(Zoom) ※ビデオオン必須

申込締切日：2022年7月7日(木)

申込フォーム：<https://forms.gle/Wzihbzxa43bBR56D6>

*最初の1時間は講義。講師退室後、残りのメンバーで30分ほど勉強会。



〈お願い〉

受講に必要な機器類や通信にかかる費用は自己負担となります。回線やサーバの混雑等によるトラブル(接続できない、映像が見られない等)の責任は負いかねます。返金は原則、不可となります。

TISLR 14関連ミニ講座(Nia Lazarus氏)

雨と水が合わなくて友と弾力が合うのはなぜか。

二つの手話言語における共語化の探究(仮訳)

Why rain and water don't go together, but friends and elasticity do:

An exploratory study of colexification in two sign languages

2022年9月にTISLR14(第14回国際手話言語学会)が国立民族博物館で行われます。それに先立ちまして、手話教師センターでは、講演者ご自身にアブストラクトの内容について解説していただくミニ講座を開催いたします。

ご興味のある方はぜひご参加ください。

日 時：2022年8月23日(火)20:00~21:30

講 師：Nia Lazarus氏

使用言語：アメリカ手話

参加対象：ろう通訳者・フィーダー養成講座修了生

参加費：法人会員・サポーター 1,000円、一般 1,500円

プロフィール：言語学の博士課程に在籍、2020年7月にドイツのケルン大学の博士候補生として、ドイツ手話とイギリス手話における共起語化について前例のない調査中

参加方法：オンライン(Zoom) ※ビデオオン必須

申込締切日：2022年8月3日(土)

申込フォーム：<https://forms.gle/Wzihbzxa43bBR56D6>

*最初の1時間は講義。講師退室後、残りのメンバーで30分ほど勉強会。



〈お願い〉

受講に必要な機器類や通信にかかる費用は自己負担となります。回線やサーバの混雑等によるトラブル(接続できない、映像が見られない等)の責任は負いかねます。

※申込締切後のキャンセル及び返金はできかねますので、ご了承ください。

TISLR 14 関連ミニ講座(Madeline Quam 氏)

語彙の慣用化は、主たる使用者のコミュニティが必要、
コミュニケーションによる相互作用は十分ではない(仮訳)

Lexical conventionalization requires a community of primary users, communicative interactions
are not enough

2022年9月にTISLR14(第14回国際手話言語学会)が国立民族博物館で行われます。

それに先立ちまして、手話教師センターでは、講演者ご自身にアブストラクトの内容について解説していただくミニ講座を開催いたします。

ご興味のある方はぜひご参加ください。

日 時：2022年7月31日(日)20:30~22:00

講 師：Madeline Quam 氏

使用言語：アメリカ手話

参加対象：ろう通訳者・フィーダー養成講座修了生

参加費：法人会員・サポーター 1,000円、一般 1,500円

プロフィール：コネティカット大学 発達心理学の博士課程に在籍、手話創発と数量認知について研究

参加方法：オンライン(Zoom) ※ビデオオン必須

申込締切日：2022年7月21日(木)

申込フォーム：<https://forms.gle/Wzihbzxa43bBR56D6>



*最初の1時間は講義。講師退室後、残りのメンバーで30分ほど勉強会。

〈お願い〉

受講に必要な機器類や通信にかかる費用は自己負担となります。回線やサーバの混雑等によるトラブル(接続できない、映像が見られない等)の責任は負いかねます。返金は原則、不可となります。

TISLR 14関連ミニ講座(Aida Villa é cija氏)

カタルーニャ手話（LSC）における派生過程としての完全反復:頻度、経路、円運動(仮訳)
Full reduplication as a derivative process in Catalan Sign Language (LSC): Frequency rate,
path and circular movements

2022年9月にTISLR14(第14回国際手話言語学会)が国立民族博物館で行われます。
それに先立ちまして、手話教師センターでは、講演者ご自身にアブストラクトの内容について解説
していただくミニ講座を開催いたします。
ご興味のある方はぜひご参加ください。

日 時：2022年8月18日(木)20:00~21:30

講 師：Aida Villa é cija氏

使用言語：音声英語(日本手話への通訳あり)

参加対象：ろう通訳者・フィーダー養成講座修了生

参加費：法人会員・サポーター 1,000円、一般 1,500円

プロフィール：ポンペウ・ファブラ大学 翻訳言語科学科 プレドクター
ー研究員、GLiF (正式な言語学研究グループ)、LSC-Lab (カタルーニャ
手話ラボ)、Infolex (辞書と情報)を研究中、口語と手話の言語の形態
論、用語、新語の研究および教育に関心、現在、カタルーニャ語研究所
と共同で、LSC リファレンス・コーパスの作成に協力、翻訳者、通訳
者(EN/CA/ES/LSC)として、LSC-Lab(翻訳、字幕)の様々なプ
ロジェクトにも参加



参加方法：オンライン(Zoom) ※ビデオオン必須

申込締切日：2022年8月3日(水)

申込フォーム：<https://forms.gle/Wzihbzxa43bBR56D6>



*最初の1時間は講義。講師退室後、残りのメンバーで30分ほど勉強
会。

〈お願い〉

受講に必要な機器類や通信にかかる費用は自己負担となります。回線やサーバの混雑等によるトラブル(接続できない、映像が見られない等)の責任は負いかねます。返金は原則、不可となります。

TISLR 14関連ミニ講座(Anne Therese Frederiksen氏)

アメリカ手話の代名詞選択には競合する指示物の数が影響する(仮訳)

Number of competing referents matters for choice of pronoun in ASL

2022年9月にTISLR14(第14回国際手話言語学会)が国立民族博物館で行われます。
それに先立ちまして、手話教師センターでは、講演者ご自身にアブストラクトの内容について解説
していただくミニ講座を開催いたします。
ご興味のある方はぜひご参加ください。

日 時：2022年8月11日(祝)朝9:00～10:30

講 師：Anne Therese Frederiksen氏

使用言語：アメリカ手話

参加対象：ろう通訳者・フィーダー養成講座修了生

参加費：法人会員・サポーター 1,000円、一般 1,500円

プロフィール：カリフォルニア大学アーバイン校、バイリンガル、心、脳ラボの博士研究
員、研究関心：バイモーダル バイリンガル、アメリカ手話における参
照連結の研究

参加方法：オンライン(Zoom) ※ビデオオン必須

申込締切日：2022年8月3日(土)

申込フォーム：<https://forms.gle/Wzihbzxa43bBR56D6>

*最初の1時間は講義。講師退室後、残りのメンバーで30分ほど勉強会。



〈お願い〉

受講に必要な機器類や通信にかかる費用は自己負担となります。回線やサーバの混雑等によるトラブル(接続できない、映像が見られない等)の責任は負いかねます。返金は原則、不可となります。

TISLR 14 関連ミニ講座(Paul Twitchell 氏)

ASL の外部指示詞について(仮訳) Exophoric demonstratives in ASL

2022 年 9 月に TISLR14(第 14 回国際手話言語学会)が国立民族博物館で行われます。

それに先立ちまして、手話教師センターでは、講演者ご自身にアブストラクトの内容について解説していただくミニ講座を開催いたします。

ご興味のある方はぜひご参加ください。

日 時：2022 年 6 月 19 日(日) 10:00~11:30

講 師：Paul Twitchell 氏

使用言語：アメリカ手話

参加対象：ろう通訳者・フィーダー養成講座修了生

参加費：法人会員・サポーター 1,000 円、一般 1,500 円

プロフィール：米国ニューメキシコ州アルバカーキ出身、言語学の学士号と修士号保持、ろう者、ニューメキシコ大学の言語・リテラシー・社会文化研究プログラムで博士論文を執筆中、ASL における指示詞を中心に研究

ASL 言語学、子どもの言語習得、第二言語教育への理解に関心がある

当大学の通訳プログラムのために ASL クラスを指導

関心のある研究テーマ：統語論、形態論、意味論

参加方法：オンライン(Zoom) ※ビデオオン必須

申込締切日：2022 年 6 月 13 日(月)

申込フォーム：<https://forms.gle/Wzihbzxa43bBR56D6>



*最初の1時間は講義。講師退室後、残りのメンバーで30分ほど勉強会。

〈お願い〉

受講に必要な機器類や通信にかかる費用は自己負担となります。回線やサーバの混雑等によるトラブル(接続できない、映像が見られない等)の責任は負いかねます。返金は原則、不可となります。

TISLR 14関連ミニ講座(Jenny Lu氏)

子どもの目にはすべてのポイントが同じわけではない(仮訳)

Not all points are the same from a child's eyes

2022年9月にTISLR14(第14回国際手話言語学会)が国立民族博物館で行われます。それに先立ちまして、手話教師センターでは、講演者ご自身にアブストラクトの内容について解説していただくミニ講座を開催いたします。

ご興味のある方はぜひご参加ください。

日 時：2022年8月14日(日)朝9:00～10:30

講 師：Jenny Lu氏

使用言語：国際手話

参加対象：ろう通訳者・フィーダー養成講座修了生

参加費：法人会員・サポーター 1,000円、一般 1,500円

プロフィール：アメリカ手話、ホームサイン、触手話などの研究に取り組む手話研究者

参加方法：オンライン(Zoom) ※ビデオオン必須

申込締切日：2022年8月3日(土)

申込フォーム：<https://forms.gle/Wzihbzxa43bBR56D6>

*最初の1時間は講義。講師退室後、残りのメンバーで30分ほど勉強会。



〈お願い〉

受講に必要な機器類や通信にかかる費用は自己負担となります。回線やサーバの混雑等によるトラブル(接続できない、映像が見られない等)の責任は負いかねます。

※申込締切後のキャンセル及び返金はできかねますので、ご了承ください。

TISLR 14 関連ミニ講座(Rachel Sutton-Spence 氏)

言語的特徴を生かした手話童話の創作(仮訳)

Creating original sign language children's stories using linguistic features

2022年9月にTISLR14(第14回国際手話言語学会)が国立民族博物館で行われます。

それに先立ちまして、手話教師センターでは、講演者ご自身にアブストラクトの内容について解説していただくミニ講座を開催いたします。

ご興味のある方はぜひご参加ください。

日時：2022年6月18日(土)19:00~20:30

講師：Rachel Sutton-Spence 氏

使用言語：国際手話

参加対象：ろう通訳者・フィーダー養成講座修了生

参加費：法人会員・サポーター 1,000円、一般 1,500円

プロフィール：

1989年～ 手話研究に従事(ブリストル大学ろう者学センター)

2013年～ ブラジルのサンタ・カタリーナ連邦大学のブラジル手話

(リブラス)学科の教授兼研究者

現在の研究テーマ：手話ユーモア、ポエム、物語を含む手話伝承と創造的手話

参加方法：オンライン(Zoom) ※ビデオオン必須

申込締切日：2022年6月10日(金)

申込フォーム：<https://forms.gle/Wzihbzxa43bBR56D6>



*最初の1時間は講義。講師退室後、残りのメンバーで30分ほど勉強会。

〈お願い〉

受講に必要な機器類や通信にかかる費用は自己負担となります。回線やサーバの混雑等によるトラブル(接続できない、映像が見られない等)の責任は負いかねます。返金は原則、不可となります。

日本手話、台湾手話、韓国手話における通時的変化 親族表現に着目して

**Diachronic change in Japanese Sign Language, Taiwan Sign Language
and South Korean Sign Language: Focus on kinship terms**

2022年9月にTISLR14（第14回国際手話言語学会）が国立民族博物館で行われます。
それに先立ちまして、手話教師センターでは、発表者ご自身にアブストラクトの内容に
ついて解説していただくミニ講座を開催いたします。
ご興味のある方はぜひご参加ください。

日 時：2022年5月29日(日)20:00～21:30

講 師：国立民族学博物館 人類基礎理論研究部 相良啓子氏

使用言語：日本手話

参加対象：ろう通訳者・フィーダー養成講座修了生

参加費：手話教師センター法人会員・サポーター 1,000円、一般 1,500円

参加方法：オンライン(zoom) ビデオオン必須

申込締切日：2022年5月17日(火)

申込フォーム：<https://forms.gle/uTG6KPTfjx2xKNoN6>



*最初の1時間は講義。

発表者退室後、残りのメンバーで30分ほど勉強会。

<お願い>

受講に必要な機器類や通信にかかる費用は自己負担となります。回線やサーバの混雑等によるトラブル(接続できない、映像が見られない等)の責任は負いかねます。返金は原則、不可となります。

TISLR 14関連ミニ講座(Hannah Lutzenberger氏)

手話コミュニティの社会構造と語彙変異：

関係性をもたない三つの手話言語間の比較(仮訳)

The social structure of signing communities and lexical variation: A cross-linguistic comparison of three unrelated sign languages

2022年9月にTISLR14(第14回国際手話言語学会)が国立民族博物館で行われます。それに先立ちまして、手話教師センターでは、講演者ご自身にアブストラクトの内容について解説していただくミニ講座を開催いたします。

ご興味のある方はぜひご参加ください。

日 時：2022年8月16日(火)20:00~21:30

講 師：Hannah Lutzenberger氏

使用言語：国際手話

参加対象：ろう通訳者・リーダー養成講座修了生

参加費：法人会員・サポーター 1,000円、一般 1,500円

プロフィール：英国 バーミンガム大学 博士研究員

手話の使用とバリエーション、言語ドキュメンテーション、手話習得に関心がある。

バリの村手話であるカタコロクを中心に研究

参加方法：オンライン(Zoom) ※ビデオオン必須

申込締切日：2022年8月7日(日)

申込フォーム：<https://forms.gle/Wzihbzxa43bBR56D6>

*最初の1時間は講義。講師退室後、残りのメンバーで30分ほど勉強会。



〈お願い〉

受講に必要な機器類や通信にかかる費用は自己負担となります。回線やサーバの混雑等によるトラブル(接続できない、映像が見られない等)の責任は負いかねます。

※申込締切後のキャンセル及び返金はできかねますので、ご了承ください。

TISLR 14 関連ミニ講座(Matthew Hall 氏)

“十分ではない”、それとも 単に“足りない”？
聴家庭の聴覚障害児への手話インプットの質と量(仮訳)

“Not good enough” , or just “not enough” ?

Quality and quantity of signed input in DHH children from hearing families

2022年9月にTISLR14(第14回国際手話言語学会)が国立民族博物館で行われます。

それに先立ちまして、手話教師センターでは、講演者ご自身にアブストラクトの内容について解説していただくミニ講座を開催いたします。

ご興味のある方はぜひご参加ください。

日 時：2022年8月8日(月)20:30~22:00

講 師：Matthew Hall 氏

使用言語：アメリカ手話

参加対象：ろう通訳者・フィーダー養成講座修了生

参加費：法人会員・サポーター 1,000円、一般 1,500円

プロフィール：テンプル大学助教授、第一言語基礎研究室を主宰：理論と応用の研究を通して、すべての聴覚障害児の発達の可能性を最大限に引き出すことに尽力している。

参加方法：オンライン(Zoom) ※ビデオオン必須

申込締切日：2022年7月29日(金)

申込フォーム：<https://forms.gle/Wzihbzxa43bBR56D6>

*最初の1時間は講義。講師退室後、残りのメンバーで30分ほど勉強会。



〈お願い〉

受講に必要な機器類や通信にかかる費用は自己負担となります。回線やサーバの混雑等によるトラブル(接続できない、映像が見られない等)の責任は負いかねます。返金は原則、不可となります。

TISLR 14 関連ミニ講座(Johanna Mesch 氏)

触覚手話モダリティにおける位相空間の位置確定

Establishing locations in topographic space in the tactile signed modality

2022年9月にTISLR14(第14回国際手話言語学会)が国立民族博物館で行われます。

それに先立ちまして、手話教師センターでは、講演者ご自身にアブストラクトの内容について解説していただくミニ講座を開催いたします。

ご興味のある方はぜひご参加ください。

日時：2022年7月3日(日) 19:00~20:30

講師：Johanna Mesch 氏

使用言語：国際手話

参加対象：TISLR14 通訳チームメンバー

参加費：法人会員・サポーター 1,000円、一般 1,500円

プロフィール：ストックホルム大学 手話言語学 教授 ろう者

参加方法：オンライン(Zoom) ※ビデオオン必須

申込締切日：2022年6月27日(月)

申込フォーム：<https://forms.gle/Wzihbzxa43bBR56D6>



*最初の1時間は講義。講師退室後、残りのメンバーで30分ほど勉強会。

<お願い>

受講に必要な機器類や通信にかかる費用は自己負担となります。回線やサーバの混雑等によるトラブル(接続できない、映像が見られない等)の責任は負いかねます。返金は原則、不可となります。

TISLR 14 関連ミニ講座(Rachel Miles 氏)

音韻手型の言語間分布特性(仮訳)

Cross-linguistic distributional properties of phonological handshape

2022年9月にTISLR14(第14回国際手話言語学会)が国立民族博物館で行われます。

それに先立ちまして、手話教師センターでは、講演者ご自身にアブストラクトの内容について解説していただくミニ講座を開催いたします。

ご興味のある方はぜひご参加ください。

日時：2022年7月30日(土)朝 9:30~11:00

講師：Rachel Miles 氏

使用言語：国際手話

参加対象：ろう通訳者・フィーダー養成講座修了生

参加費：法人会員・サポーター 1,000円、一般 1,500円

プロフィール：カリフォルニア大学 サンディエゴ校 大学院生、聴者、第一言語への獲得環境の遅れに及ぼす影響についてを研究。また、手話の種類と言語創発にも関心がある。

参加方法：オンライン(Zoom) ※ビデオオン必須

申込締切日：2022年7月21日(木)

申込フォーム：<https://forms.gle/Wzihbzxa43bBR56D6>



*最初の1時間は講義。講師退室後、残りのメンバーで30分ほど勉強会。



〈お願い〉

受講に必要な機器類や通信にかかる費用は自己負担となります。回線やサーバの混雑等によるトラブル(接続できない、映像が見られない等)の責任は負いかねます。返金は原則、不可となります。

TISLR 14 関連ミニ講座(Kaj Kraus 氏)

第二言語者の手話アクセント： ASL 学習者における音韻発達(仮訳)

L2 Signer Accent: Phonological Development in ASL Learners

2022年9月にTISLR14(第14回国際手話言語学会)が国立民族博物館で行われます。

それに先立ちまして、手話教師センターでは、講演者ご自身にアブストラクトの内容について解説していただくミニ講座を開催いたします。

ご興味のある方はぜひご参加ください。

日 時：2022年8月5日(金)20:30~22:00

講 師：Kaj Kraus 氏

使用言語：アメリカ手話

参加対象：ろう通訳者・フィーダー養成講座修了生

参加費：法人会員・サポーター 1,000円、一般 1,500円

プロフィール：ギャローデット大学 言語学専攻 博士課程

参加方法：オンライン(Zoom) ※ビデオオン必須

申込締切日：2022年7月27日(水)

申込フォーム：<https://forms.gle/Wzihbzxa43bBR56D6>

*最初の1時間は講義。講師退室後、残りのメンバーで30分ほど勉強会。



〈お願い〉

受講に必要な機器類や通信にかかる費用は自己負担となります。回線やサーバの混雑等によるトラブル(接続できない、映像が見られない等)の責任は負いかねます。返金は原則、不可となります。

TISLR 14 関連ミニ講座(Aline Normoyle 氏)

2D ビデオソースから手話発話の骨格モデリング用オープンソースパイプライン(仮訳)

Open-Source Pipeline for Skeletal Modeling of Sign Language Utterances

from 2D Video Sources

2022年9月にTISLR14(第14回国際手話言語学会)が国立民族博物館で行われます。

それに先立ちまして、手話教師センターでは、講演者ご自身にアブストラクトの内容について解説していただくミニ講座を開催いたします。

ご興味のある方はぜひご参加ください。

日 時：2022年7月30日(土)20:00~21:30

講 師：Aline Normoyle 氏

使用言語：音声英語(日本手話への通訳あり)

参加対象：ろう通訳者・フィーダー養成講座修了生

参加費：法人会員・サポーター 1,000円、一般 1,500円

プロフィール：プリンマー大学助教授

ビデオ、アバターとNPC、VR/AR/ビデオゲームからのモーション解析を研究

参加方法：オンライン(Zoom) ※ビデオオン必須

申込締切日：2022年7月21日(木)

申込フォーム：<https://forms.gle/Wzihbzxa43bBR56D6>



*最初の1時間は講義。講師退室後、残りのメンバーで30分ほど勉強会。

〈お願い〉

受講に必要な機器類や通信にかかる費用は自己負担となります。回線やサーバの混雑等によるトラブル(接続できない、映像が見られない等)の責任は負いかねます。返金は原則、不可となります。

TISLR 14 関連ミニ講座(Timothy Y. Loh 氏)

ウムム/アラビ ムカサー：アンマンのヨルダン手話（LIU）に関する競合談話(仮訳)

lughat umm/'arabi mukasser: competing discourses about Jordanian Sign Language (LIU) in
Amman

2022年9月にTISLR14(第14回国際手話言語学会)が国立民族博物館で行われます。

それに先立ちまして、手話教師センターでは、講演者ご自身にアブストラクトの内容について解説していただくミニ講座を開催いたします。

ご興味のある方はぜひご参加ください。

日時：2022年8月21日(日)20:30~22:00

講師：Timothy Y. Loh 氏

使用言語：アメリカ手話

参加対象：ろう通訳者・フィーダー養成講座修了生

参加費：法人会員・サポーター 1,000円、一般 1,500円

プロフィール：マサチューセッツ工科大学の歴史、人類学、科学技術、社会の博士課程に在籍

ヨルダン、シンガポール、米国にまたがるろう者と手話の世界における社会、言語、宗教についてエスノグラフィックリサーチを行なっている。<https://www.timothyloh.com>

参加方法：オンライン(Zoom) ※ビデオオン必須

申込締切日：2022年8月3日(水)

申込フォーム：<https://forms.gle/Wzihbzxa43bBR56D6>



*最初の1時間は講義。講師退室後、残りのメンバーで30分ほど勉強会。

〈お願い〉

受講に必要な機器類や通信にかかる費用は自己負担となります。回線やサーバの混雑等によるトラブル(接続できない、映像が見られない等)の責任は負いかねます。返金は原則、不可となります。

TISLR 14関連ミニ講座(Lynn Hou氏)

ろう者BIPOCグローバル・サウス研究者はどこにいるのか？
手話言語学分野におけるパリティとインクルージョンの検討(仮訳)
Where are the deaf BIPOC Global South researchers?
Examining parity and inclusion in the field of sign language linguistics

2022年9月にTISLR14(第14回国際手話言語学会)が国立民族博物館で行われます。
それに先立ちまして、手話教師センターでは、講演者ご自身にアブストラクトの内容について解説
していただくミニ講座を開催いたします。

ご興味のある方はぜひご参加ください。

日 時：2022年7月10日(日)朝9:30～11:00

講 師：Lynn Hou氏

使用言語：国際手話

参加対象：TISLR14 通訳チームメンバー

参加費：法人会員・サポーター 1,000円、一般 1,500円

プロフィール：カリフォルニア大学サンタバーバラ校 言語学部 助教授

参加方法：オンライン(Zoom) ※ビデオオン必須

申込締切日：2022年7月8日(金)

申込フォーム：<https://forms.gle/Wzihbzxa43bBR56D6>



*最初の1時間は講義。講師退室後、残りのメンバーで30分ほど勉強
会。

〈お願い〉

受講に必要な機器類や通信にかかる費用は自己負担となります。回線やサーバの混雑等によるトラブル(接続できない、映像が見られない等)の責任は負いかねます。返金は原則、不可となります。

TISLR 14関連ミニ講座(Rain Bosworth氏)

ネイティブ手話児と手話の未習得児の言語的と非言語的身体動作に
対する視線パターンについて(仮訳)

Native Signing vs. Sign-Naïve Children's Perceptual Gaze Patterns for Linguistic and Non-
Linguistic Body Actions

2022年9月にTISLR14(第14回国際手話言語学会)が国立民族博物館で行われます。
それに先立ちまして、手話教師センターでは、講演者ご自身にアブストラクトの内容について解説
していただくミニ講座を開催いたします。
ご興味のある方はぜひご参加ください。

日 時：2022年8月13日(土)朝9:00～10:30

講 師：Rain Bosworth氏

使用言語：アメリカ手話

参加対象：ろう通訳者・フィーダー養成講座修了生

参加費：法人会員・サポーター 1,000円、一般 1,500円

プロフィール：博士号、ロチェスター工科大学（RIT）・国
立聾工科大学（NTID）教養学部 助教授、実験心理学者で、
新設された知覚（P）、言語（L）、注意（A）、ユース
（Y）、（PLAY）ラボで、アイトラッキングを用いてろう
児と聴児の知覚と言語の発達を研究中。

現在、アメリカ手話の学習・処理方法に関する疑問を解決するために、幼
児、子供、成人の視線行動を調査中。

参加方法：オンライン(Zoom) ※ビデオオン必須

申込締切日：2022年8月3日(水)

申込フォーム：<https://forms.gle/Wzihbzxa43bBR56D6>

*最初の1時間は講義。講師退室後、残りのメンバーで30分ほど勉強会。



〈お願い〉

受講に必要な機器類や通信にかかる費用は自己負担となります。回線やサーバの混雑等によるトラ
ブル(接続できない、映像が見られない等)の責任は負いかねます。返金は原則、不可となります。

TISLR 14関連ミニ講座(Allison Fitch 氏)

アメリカ手話獲得過程のろう児における重複注視、物体操作、

および持続的な注意の関係(仮説)

The relationship between joint gaze, object manipulation, and sustained attention in deaf children acquiring ASL

2022年9月にTISLR14(第14回国際手話言語学会)が国立民族博物館で行われます。それに先立ちまして、手話教師センターでは、講演者ご自身にアブストラクトの内容について解説していただくミニ講座を開催いたします。

ご興味のある方はぜひご参加ください。

日 時：2022年8月28日(日)20:00~21:30

講 師：Allison Fitch氏

使用言語：アメリカ手話

参加対象：ろう通訳者・フィーダー養成講座修了生

参加費：法人会員・サポーター 1,000円、一般 1,500円

プロフィール：ロチェスター工科大学の助教授、特にアメリカ手話を習得する聴覚障害児の共同注意と言語発達の相互作用を研究中

参加方法：オンライン(Zoom) ※ビデオオン必須

申込締切日：2022年8月19日(金)

申込フォーム：<https://forms.gle/Wzihbzxa43bBR56D6>

*最初の1時間は講義。講師退室後、残りのメンバーで30分ほど勉強会。



〈お願い〉

受講に必要な機器類や通信にかかる費用は自己負担となります。回線やサーバの混雑等によるトラブル(接続できない、映像が見られない等)の責任は負いかねます。

※申込締切後のキャンセル及び返金はできかねますので、ご了承ください。

TISLR 14 関連ミニ講座(Mirko Santoro 氏)

手話の比較構文：イタリア手話と中国手話の比較研究(仮訳)

Comparative constructions in sign language: A comparative study between LIS and CSL

2022年9月にTISLR14(第14回国際手話言語学会)が国立民族博物館で行われます。

それに先立ちまして、手話教師センターでは、講演者ご自身にアブストラクトの内容について解説していただくミニ講座を開催いたします。

ご興味のある方はぜひご参加ください。

日時：2022年8月6日(土)20:30~22:00

講師：Mirko Santoro 氏

使用言語：国際手話

参加対象：ろう通訳者・フィーダー養成講座修了生

参加費：法人会員・サポーター 1,000円、一般 1,500円

プロフィール：イタリアのろう者、手話言語学研究者、現在、フランスで勤務

関心のある研究テーマ：統語論、形態論、意味論

参加方法：オンライン(Zoom) ※ビデオオン必須

申込締切日：2022年7月27日(水)

申込フォーム：<https://forms.gle/Wzihbzxa43bBR56D6>



*最初の1時間は講義。講師退室後、残りのメンバーで30分ほど勉強会。

〈お願い〉

受講に必要な機器類や通信にかかる費用は自己負担となります。回線やサーバの混雑等によるトラブル(接続できない、映像が見られない等)の責任は負いかねます。返金は原則、不可となります。

TISLR 14関連ミニ講座(Cornelia Loos氏)

ただの手話ではない：ドイツ手話における否定極性アイテムの探索(仮訳)
Not just any sign: Searching for negative polarity items in DGS

2022年9月にTISLR14(第14回国際手話言語学会)が国立民族博物館で行われます。
それに先立ちまして、手話教師センターでは、講演者ご自身にアブストラクトの内容について解説
していただくミニ講座を開催いたします。

ご興味のある方はぜひご参加ください。

日 時：2022年8月1日(月)20:00~21:30

講 師：Cornelia Loos氏

使用言語：音声英語(日本手話への通訳あり)

参加対象：ろう通訳者・フィーダー養成講座修了生

参加費：法人会員・サポーター 1,000円、一般 1,500円

プロフィール：ハンブルク大学 博士研究員

参加方法：オンライン(Zoom) ※ビデオオン必須

申込締切日：2022年7月22日(金)

申込フォーム：<https://forms.gle/Wzihbzxa43bBR56D6>



*最初の1時間は講義。講師退室後、残りのメンバーで30分ほど勉強会。



〈お願い〉

受講に必要な機器類や通信にかかる費用は自己負担となります。回線やサーバの混雑等によるトラブル(接続できない、映像が見られない等)の責任は負いかねます。返金は原則、不可となります。

TISLR 14 関連ミニ講座(Laura Horton 氏)

割り込み？それとも参加？ASL クラスでの発話が重なった時のターンについて(仮訳)
Interruptions or Open Participation? Turn Overlaps in ASL Classrooms

2022年9月にTISLR14(第14回国際手話言語学会)が国立民族博物館で行われます。

それに先立ちまして、手話教師センターでは、講演者ご自身にアブストラクトの内容について解説していただくミニ講座を開催いたします。

ご興味のある方はぜひご参加ください。

日 時：2022年8月7日(日)19:00~20:30

講 師：Laura Horton 氏

使用言語：アメリカ手話

参加対象：TISLR14 通訳チームメンバー

参加費：法人会員・サポーター 1,000円、一般 1,500円

プロフィール：テキサス大学オースティン校言語学部のポスドクとして、Jenny Singleton 教授の指導のもと、手話の発達に関するプロジェクトに参加

(引用元：<https://linguistics.uchicago.edu/laura-horton-accepts-post-doctoral-position>)

参加方法：オンライン(Zoom) ※ビデオオン必須

申込締切日：2022年7月31日(日)

申込フォーム：<https://forms.gle/Wzihbzxa43bBR56D6>



*最初の1時間は講義。講師退室後、残りのメンバーで30分ほど勉強会。

〈お願い〉

受講に必要な機器類や通信にかかる費用は自己負担となります。回線やサーバの混雑等によるトラブル(接続できない、映像が見られない等)の責任は負いかねます。返金は原則、不可となります。

TISLR 14関連ミニ講座(Connile de VoConnile de Vo氏)

ホームサイナーの語用論的スキル：バリ島のホームサインにおける他者開始修復について (仮訳)

The pragmatic skills of homesigners: Other-initiated repair in Balinese homesign

2022年9月にTISLR14(第14回国際手話言語学会)が国立民族博物館で行われます。
それに先立ちまして、手話教師センターでは、講演者ご自身にアブストラクトの内容について解説
していただくミニ講座を開催いたします。

ご興味のある方はぜひご参加ください。

日 時：2022年8月19日(金)20:00~21:30

講 師：Connile de Vo氏

使用言語：国際手話

参加対象：ろう通訳者・フィーダー養成講座修了生

参加費：法人会員・サポーター 1,000円、一般 1,500円

プロフィール：ティルブルグ大学准教授

参加方法：オンライン(Zoom) ※ビデオオン必須

申込締切日：2022年8月3日(水)

申込フォーム：<https://forms.gle/Wzihbzxa43bBR56D6>

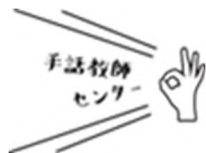


*最初の1時間は講義。講師退室後、残りのメンバーで30分ほど勉強会。



〈お願い〉

受講に必要な機器類や通信にかかる費用は自己負担となります。回線やサーバの混雑等によるトラブル(接続できない、映像が見られない等)の責任は負いかねます。返金は原則、不可となります。



オンライン講座 手話通訳士と同等の知識を得るための勉強会のご案内

(日本財団助成事業：コミュニティ&学術分野におけるろう通訳者・リーダー養成事業)

ろう通訳者として、厚生労働大臣認定資格である手話通訳技能認定試験(手話通訳士試験)を突破した手話通訳士と「同等の知識」を持ちたいと思う皆様への勉強会のご案内です。士試験に出てくる内容を勉強してみませんか。ご希望の方はぜひお申込みください。

【会場・日程・受講料等】

会場・時間：オンライン(ZOOM) 1コマ=90分、平日夜 20時~21時30分

講師：手話通訳士(聴者)複数名

実施科目講座回数および日程と受講料：会・サ=会員またはサポーター、一般=会員・サポーター以外の方

<学科> 2022年5月中旬~7月下旬 合計：15回

・障害者福祉の基礎知識 5コマ 受講料：会・サ4,000円/一般4,800円

5月17日(火)、6月7日(火)、28日(火)、7月5日(火)、12日(火)

・聴覚障害者に関する基礎知識 5コマ 受講料：会・サ4,000円/一般4,800円

5月23日(月)、6月1日(水)、20日(月)、24日(金)、7月8日(金)

・手話通訳のあり方 2コマ 受講料：会・サ2,000円/一般2,400円

5月27日(金)、6月13日(月)

・国語 3コマ 受講料：会・サ4,000円/一般4,800円

6月17日(金)、7月1日(金)、20日(水)

※学科試験対策4講座をすべて受講する場合は、会・サ10,000円/一般12,000円です。



<実技> 2022年8月初旬~9月下旬 合計：5回

・実技対策(聞き取り・読み取り) 5コマ 受講料：会・サ4,000円/一般4,800円

日程は未定(決定し次第受講者に通知)

【応募について】

応募方法：申込みフォーム(QRコードまたは、下のURL)から応募

URL <https://forms.gle/EjkHJp6pXaSesNG86>

応募締切：2022年5月7日(土) 詳細は、5月10日(火)頃にメールにて通知します。

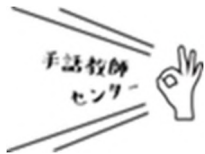


←お申込みはQRコードから

特定非営利活動法人手話教師センター事務局

事務局：info@jsltc.org

FAX：03-4579-0518



オンライン講座

手話通訳士と同等の知識を得るための勉強会

(日本財団助成事業：コミュニティ&学術分野におけるろう通訳者・リーダー養成事業)

<実技講座のご案内>

【講座時間・回数・日程等】

- **会場・時間**：20:00～21:30 90分 (Zoom (オンライン))
- **講師**：手話通訳士 (聴者) 複数名
- **講座の回数**：5コマ
(聞き取り (日本語→手話) 2回、読み取り (手話→日本語) 3回)
- **日程**：8/8 (月) 聞き取り (日本語→手話)
8/19 (金) 読み取り (手話→日本語)
8/26 (金) 読み取り (手話→日本語)
8/29 (月) 聞き取り (日本語→手話)
9/12 (月) 読み取り (手話→日本語)
- **受講料**：
会員またはサポーター 4,000円
一般 4,800円 (振込先等は、お申込みされた方にお知らせします)
- **その他**：遅刻・欠席者には資料配布および期間限定のアーカイブ動画配信を予定



【申込みについて】

- **申込み**：お申込みフォーム (下の URL または、QR コード) からお願いします。
URL: <https://forms.gle/rrKXtauLZejMDYAP6>
- **申込み締め切り**：2022年7月31日 (日)



↑お申込みはQRコードから



特定非営利活動法人手話教師センター事務局

事務局： info@jsltc.org

FAX： 03-4579-0518